

平成28年度

事業報告書



社会福祉法人

寝屋川市社会福祉協議会

目 次

平成 28 年度事業の総括	1
1. 小地域福祉活動推進事業	2
2. まちかど福祉相談所拡充事業	7
3. 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業	11
4. ボランティアセンター事業	19
5. 福祉教育推進事業	26
6. 当事者組織支援事業	31
7. 家族介護者交流事業	34
8. 献血推進事業	35
9. 福祉有償運送事業	36
10. 車イス貸出し事業	41
11. 元気アップ介護予防ポイント事業	42
12. 救急医療情報キット普及事業	44
13. 福祉総合相談事業	45
14. 赤い羽根共同募金事業	47
15. 歳末たすけあい運動事業	49
16. 広報事業	53
17. 調査・研究事業	55
18. 地域包括支援センター事業	58
19. 生活困窮者自立支援事業	70
20. 生活福祉資金貸付事業	75
21. 生活緊急支援金給付事業	76
22. 日常生活自立支援事業	77
23. 善意銀行事業	80
24. 法人運営・基盤強化事業	81
25. 研修事業	92
26. 福利厚生事業	95
27. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営	96
28. 災害被災地支援活動	96

本文や表中表記の見方

- 本文の表中にある「△」標記は、マイナスを示します。
- 本文の表中にある(△7)等のカッコを付けた数字表記は、前年実績と比較しての増減を示します。
例えば、表のひとつの枠内に8(△5)とある場合は、平成28年度実績が「8」で、前年実績と比べて「マイナス5」であることを示しています。
- 同じく表中で使用する「－」表記はゼロを指します。
例えば、表のひとつの枠内に6(－)とある場合は、平成28年度実績が6で、前年実績も6であったため、前年比がゼロであったことを示しています。
- 本文にある「V」は「ボランティア」の略字です。
- 本文にある「VC」は「ボランティアセンター」の略字です。
- 本文にある「CSW」は「コミュニティソーシャルワーカー」の略字です。

平成28年度事業の総括

1 おもな成果

- (1) 生活困窮者の自立を支えるため、新たに食料支援や職場体験に取り組みました。地域貢献委員会による食料支援や職場体験、企業や市民からの寄附により、セーフティネットの充実を図ることが出来ました。
- (2) 全ての校区で緊急時安否確認（かぎ預かり）事業模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察等とひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行い、見守りの意識が高まり連携がスムーズになりました。
- (3) 日常生活自立支援事業の長期待機者を減らすことが出来ました。職員体制の充実を図り、契約件数を増やし待機期間の短縮が出来ました。
- (4) 市と災害ボランティアセンター設置・運営に関し協定を締結しました。役割分担や連携、設置場所等について必要な事項を定めることができました。
- (5) CSW（コミュニティソーシャルワーカー）と校区福祉委員、関係機関との連携を深めることが出来ました。支援困難事例や地域の諸課題について話し合うことを通じ、支援時の役割分担や協力体制が強化されました。

2 課 題

- (1) 地域住民や福祉事業所、新聞配達事業者などと連携し、見守り活動を充実させる必要があります。ひとり暮らし高齢者だけでなく、要介護状態の高齢者世帯や障害のある人など対象の拡大や、見守り体制の検討をしていく必要があります。
- (2) 地域福祉活動に参加・参画する人を増やすことが必要です。地域福祉活動に関わる人が年々高齢化しており、また、多様化する福祉課題に、さまざまな形で関わる人や応援する人を増やしていくことが急務です。
- (3) 地域住民が抱える制度の狭間の問題やニーズを把握するため、小地域単位での話し合いの場を持つ必要があります。

1. 小地域福祉活動推進事業

地域の高齢者、障害(児)者及び子育て中の親子等、支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を概ね小学校区（校区福祉委員会）で推進しています。

(1) 校区福祉委員会活動推進事業（全市レベルで行う校区福祉委員会に関連する事業）

①校区福祉委員長協議会の開催（開催回数：6回）

第1回 5月11日（水） 22校区出席

- (1) 平成28年度校区福祉委員長について
- (2) 人事異動及び校区担当について
- (3) 平成28年度敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
- (4) 平成28年度校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会開催要領について
- (5) 平成28年度まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について
- (6) 平成28年度運転協力者(福祉・セダン)認定講習会開催要項について
- (7) 平成28年度会員募集中間報告について
- (8) 緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】「ワガヤネヤガワ健康ポイント事業」のパンフレット(健康推進室)

【配布】子育て支援課からの依頼 つうしん「おおきくな〜れ」4・5・6月の予定(子育て支援課)

【配布】小地域ネットワーク活動パンフレット「広がれネットワーク」

第2回 7月1日（金） 23校区出席

- (1) 校区福祉委員長協議会正副会長の選任について
 - (2) ひとり暮らし高齢者名簿の配布について
 - (3) 平成28年度敬老記念式典における表彰者の推薦状況と推薦後の流れについて
 - (4) 平成28年度運転協力者現任研修会開催要項について
 - (5) 平成28年度緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 校区福祉委員会と施設の緊急時対応合同模擬訓練実施要項について
 - (6) 大阪府中央子ども家庭センターからの依頼 「はぐくみホームになりませんか」の配布
 - (7) 緊急時安否確認に関する状況報告について
 - (8) 平成28年度災害ボランティアセンタースタッフ養成講座について
- 【配布】つうしん「おおきくな〜れ」7・8・9月の予定(子育て支援課)
- 【配布】ねやがわ子育てナビ「ねやがわ子育てマップ」(子育て支援課)

第3回 9月1日（木） 23校区出席

- (1) 平成28年度赤い羽根共同募金運動実施要項について
- (2) 平成28年度歳末たすけあい運動実施要項について
- (3) ねやがわ市民ふくし講座「ビッグイシューの挑戦」～何度でもやり直せる社会のつくり方～開催要項について
- (4) ボランティア講座基礎Ⅱ「笑顔あふれるレクリエーション講座」開催要項について
- (5) 敬老記念式典の推薦結果について
- (6) 緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】つうしん「おおきくな〜れ」10・11・12月の予定(子育て支援課)

【配布】「アルねや通信」(保健所)

【配布】「アルコール健康教室」(保健所)

【配布】「ひきこもり家族交流会」(保健所)

【案内】寝屋川市障害者団体協議会 25 周年記念「補助犬ってなあ〜に？」

第 4 回 11 月 9 日(水) 23 校区出席

- (1) 平成 29 年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
- (2) 平成 28 年度歳末たすけあい運動募金配分計画について
- (3) 平成 28 年度まちかど福祉相談員現任研修会「発達障害のある人とのコミュニケーション方法について学ぶ」開催要項について
- (4) 平成 28 年度校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう」開催要項について
- (5) 平成 28 年度ボランティア講座基礎Ⅰ「私にもちょっとだけできるボランティア(ちよいぼら)」講座開催要項について
- (6) 平成 28 年度ボランティア講座シニア編「作ってみよう！便利な自助具」開催要項について
- (7) 平成 28 年度福祉広報研修会「ワクワク広報紙づくり〜楽しい！グループ運営の仕方と上手い！広報の作り方〜開催要項について
- (8) 緊急時安否確認に関する状況報告について
- (9) 平成 28 年度歳末たすけあい運動街頭募金日程について
- (10) 平成 28 年度第 2 回家族介護者交流事業開催要項について

【配布】「アルコールに関するリーフレット」(障害福祉課)

第 5 回 1 月 17 日(火) 23 校区出席

- (1) 平成 28 年度ボランティア活動見本市開催要項について
- (2) 平成 28 年度福祉教育推進セミナー「地域のニーズに対応する福祉教育について考える」開催要項について
- (3) 平成 28 年度歳末たすけあい運動街頭募金の実績報告について
- (4) 緊急時安否確認に関する状況報告について
- (5) 第 3 回家族介護者交流事業開催要項について
- (6) 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部改正について

【配布】「みんなで守ろう子どもの笑顔」リーフレット(子どもを守る課)

【配布】つうしん「おおきくな〜れ」(子育て支援課)

【配布】「ねや川春のハートフェスタ」チラシ(障害福祉課)

【配布】「運転協力者認定講習会」チラシ

第 6 回 3 月 1 日(水) 24 校区出席

- (1) 平成 29 年度ひとり暮らし高齢者調査について
- (2) 校区福祉委員会各種書類の提出について
- (3) 平成 28 年度歳末たすけあい運動募金の実績報告について

- (4) 平成 29 年度年間行事予定、地域献血日程について
- (5) 平成 29 年度福祉学習説明会の開催について
- (6) 平成 29 年度ボランティア講座(基礎Ⅰ)について
- (7) 緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】平成 29 年度ワガヤネヤガワ健康ポイント(健康推進室)

【配布】平成 29 年度ボランティア保険様式

【配布】「第 3 回寝屋川ハート・アート展」ポストカード(Club E&T)

【配布】寝屋川高齢者サポートセンターパンフレット(高齢者サポートセンター)

② 小地域ネットワーク推進委員会の開催(開催回数:1回)

ふれあいサロン活動の情報交換や見守りネットワークについて意見交換を行いました。

第 1 回 12 月 2 日(金)

- (1) 委嘱状の交付について
- (2) 正副委員長の選出について
- (3) 各校区の取り組み状況について

③ 校区福祉委員会ボランティア部会長会の開催(開催回数:6回)

部会長会では、校区の規模や組織の形態は違うが、お互いの情報交換をはじめ、課題を共有しながら共に解決策を探る場として開催しました。

第 1 回 4 月 26 日(火) 22 校区+ボランティア相談員 3 人

- 〔1〕新ボランティア部会長紹介
- 〔2〕ボランティア部会長会の役割について
- 〔3〕ボランティアセンターの活動内容について
- 〔4〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティア講座(基礎Ⅰ)を共催する校区福祉委員会ボランティア部会の確認
 - ②ボランティア部会長会の連絡先・定例会開催日・VC 通信配布数の確認

第 2 回 6 月 28 日(火) 23 校区+ボランティア相談員 2 人

- 〔1〕役員改選について(検討)
- 〔2〕平成 28 年度ボランティア部会長会で話し合うテーマについて(確認と検討)
- 〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティア講座(基礎Ⅰ)の連絡
 - ②ボランティア体験プログラムの連絡
 - ③災害ボランティアスタッフ養成講座の連絡

第 3 回 8 月 23 日(火) 22 校区+ボランティア相談員 2 人

- 〔1〕障害者団体協議会との合同避難所訓練について
- 〔2〕校区ボランティア部会長会 管外研修について
- 〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティア講座(基礎Ⅰ)の進捗状況
 - ②ボランティア講座(基礎Ⅱ)の進捗状況

第4回 11月2日(水) 23校区+ボランティア相談員6人

[1] 障害者団体協議会と合同避難所訓練

第5回 12月6日(火) 19校区

[1] 管外研修

行き先 京都市市民防災センター

第6回 2月28日(火) 21校区+ボランティア相談員2人

[1] ボランティア部会長会のふりかえり

[2] 阪南市社会福祉協議会視察研修の報告

[3] ボランティアの担い手確保について

[4] ボランティアセンターからのお知らせ

[5] 福祉教育について(説明と案内)

④ 校区福祉委員研修会の開催(開催回数:2回)

[1] 校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会

実施日 6月6日(月)

参加数 34人

内 容 基礎研修①「大阪府内の校区福祉委員会 その取り組みと役割」

講師 大阪府社会福祉協議会 主事 多田 健造 氏

基礎研修②「寝屋川市社協が目指すふくしのまちづくり」

実務研修 「会計・書記の実務と役割」

[2] 校区福祉委員会指導者研修会

実施日 2月2日(木)

参加数 38人

内 容 地域福祉のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう

講 師 同志社大学 准教授 永田 祐 氏

⑤ 事例研究会の実施(開催回数:3回)

コミュニティワーク(CW)、コミュニティソーシャルワーク(CSW)を担う事務局職員の専門性の向上を目的として研究者を講師として実施した。

* (コミュニティワーク⇒)住民が地域生活を営んでいくうえで生じる様々な問題に、住民自身が主体的・組織的に 取り組むとともに、問題解決に必要な資源の調達や連携を図っていく過程を援助する社会福祉の方法。

* (コミュニティソーシャルワーク)支援を必要とする人に対して、地域を基盤とする活動やサービスを結びつけることや新たなサービスの開発、また、公的制度の活用も視野に入れた支援を総合的に行っていく個別支援の方法。

[1] 実施日

第1回 8月26日(金)

発達障害のある単身男性(40代)の個別支援と地域支援

第2回 10月31日(月)

生活困窮者と地域のつながり

第3回 12月19日(月)

近隣から排除の目で見られている発達障害疑いの男性への地域生活支援

〔2〕講 師 大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏

⑥ コミュニティワーク(CW)業務研究会(開催回数:2回)

校区福祉委員会活動を中心とした地域支援の事例研究を通じ、事務局職員として地域福祉の推進(福祉課題を抱える人を支える地域づくり)方策を探ることを目的として研究者を講師として実施した。

〔1〕実施日

第1回 8月3日(水)

事例「地域福祉活動対象者の考え方とは」

第2回 12月20日(火)

事例「校区福祉委員会再編に向けての組織づくり支援」

〔2〕講 師 同志社大学 准教授 永田 祐 氏

⑦ 寝屋川ふくし発見プラン助成金事業

校区福祉委員会が自主性・自発性、創意工夫を発揮して、新たな事業の立ち上げや充実を図ることを通じ「地域の福祉力」を高めていく。

<第五校区福祉委員会>

内容 福祉活動の理解を深めるため市民を対象とした啓発講座「第五校区福祉啓発講座～障害福祉について学ぶ～」を行った。

助成額 100,000 円

<和光校区福祉委員会>

内容 見守り活動の強化を図るため「和光安心見守りカード」と「和光安心見守りリング」を作成し、対象者や見守り員の意識を高め、異変時の早期発見に役立てた。

助成額 100,000 円

2. まちかど福祉相談所拡充事業

地域における見守り・発見・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりを行います。また、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは困難な問題に対し、新たなサービスや仕組みの開発を行うとともに、相談の充実を図っています。

(1) まちかど福祉相談所の実施

① まちかど福祉相談所相談員養成研修会の実施

まちかど福祉相談所相談員として活動に関わる相談員を養成することを目的に実施しました。

実 施 日 6月21日（火）、6月28日（火）、7月5日（火）

会 場 総合センター4階 第1研修室

修了者数 32人

内 容 [1] まちかど福祉相談所の役割、福祉制度、相談窓口解説

[2] 話を聴くためのコミュニケーション技法を学ぶ

演習講師 アクトコミュニケーションズ 鋤谷 亜弥 氏

[3] コミュニケーション実践ふりかえり

まちかど福祉相談所の取り扱い例など

② まちかど福祉相談所相談員現任研修会の実施

まちかど福祉相談所の現任相談員を対象にスキルアップを目的に実施した。

実 施 日 12月14日（水）

会 場 総合センター4階 第2研修室

受講者数 75人

内 容 「発達障害のある人とのコミュニケーション方法について学ぶ」研修会

社会福祉法人北摂杉の子会 発達障害スーパーバイザー 堀内 桂 氏

③エリア別まちかど福祉相談所相談件数

対象者及び内容		西北	南	東北	西	東	西南	計
対象者	高齢者	15(△21)	36(3)	18(△7)	40(△19)	58(7)	23(△13)	190(△50)
	障害者	10(△20)	27(2)	6(△13)	7(△7)	-(△2)	5(△1)	55(△41)
	子ども	2(△7)	1(△1)	1(-)	1(-)	1(-)	2(△1)	8(△9)
	*その他	27(18)	46(25)	10(1)	13(△14)	16(7)	12(△6)	124(31)
計		54(△30)	110(29)	35(△19)	61(△40)	75(12)	42(△21)	377(△69)
相談内容	高齢者に関すること	13(△20)	42(12)	8(△5)	28(△37)	66(9)	19(△11)	176(△52)
	障害者に関すること	10(△23)	18(△4)	5(△6)	2(△20)	1(△2)	6(4)	42(△51)
	子育て・子どもの教育に関する相談	2(△1)	-(△1)	1(-)	2(1)	1(-)	2(-)	8(△1)
	母子(父子)家庭に関する相談	1(1)	-(△1)	-(-)	-(-)	1(-)	1(-)	3(-)
	D V被害に関する相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(△1)	-(-)	-(-)	-(△1)
	ホームレスに関する相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(△3)	-(-)	-(-)	-(△3)
	外国人に関する相談	-(△6)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(△1)	-(△7)
	福祉制度に関する相談	11(△7)	15(3)	4(△14)	14(△47)	30(13)	17(△14)	91(△66)
	生活費に関する相談	9(△6)	16(11)	3(△9)	5(△11)	7(5)	7(-)	47(△10)
	住宅に関する相談	2(△7)	5(-)	10(2)	15(△2)	7(4)	8(-)	47(△3)
	地域福祉・ボランティア活動に関する相談	5(5)	6(△1)	7(△2)	4(△13)	5(△5)	12(△6)	39(△22)
	健康相談に関すること	16(△8)	9(4)	8(△5)	12(△25)	19(4)	7(△14)	71(△44)
	その他	5(△4)	62(30)	7(△8)	29(2)	23(-)	15(△3)	141(17)
計		74(△76)	173(53)	53(△47)	111(△156)	160(28)	94(△45)	665(△243)
相談所開催日数		47(1)	68(4)	67(△6)	82(△4)	74(22)	72(△1)	410(16)

*対象者分類「その他」の主な内訳

ひとり暮らし高齢者、夫婦世帯、母子世帯

*相談内容「その他」の主な内容

自治会に関すること、要援護者世帯への関わりや考え方について、日常生活（近況報告）について、道路に関すること、近隣トラブル、離婚や家族関係について、庭木のトラブル、動物の虐待、就労について、介護のストレス、軍人恩給について、騒音問題、海外の賞金サギに関する相談、消費者被害について、熊本地震で被災した墓石について、遠方の実家へ引っ越し支援、不動産担保型生活資金について、府営住宅がなかなか当選しない等。

④ 校区别まちかど福祉相談（まちの保健室）相談件数

平成 25 年度より大阪府看護協会事業「まちの保健室」と連携協働し健康相談を実施している。

		梅が丘
対象者	高齢者	94(37)
	障害者	-
	子ども	-
	*その他	-
計		94(37)
相談	健康相談に関すること	216(97)
	その他	-
計		216(97)
相談所開催日数		3(1)

(2) まちかど福祉相談所拡充事業の実施

まちかど福祉相談所の充実発展に各エリアが取り組んだ。

① 西北エリア

エリア内の 4 校区が共同で、西北まちかど福祉相談所を運営。

開催回数 47 回、運営委員会 8 回

- ・ エリア内 4 校区が一斉に熱中症予防の啓発を行うため夏期集中見守り活動を行う。
- ・ 国民生活センターから消費者問題の啓発ポスター「見守り安全情報」「子どもサポート情報」をエリア内 4 校区のいろいろな行事で掲示する活動を行う。
- ・ 認知症と思われる対象者の見守り活動に活用できる啓発バッジを試験的に頒布した。
- ・ 支援ケースの情報共有と対応検討会を行った。

② 南エリア

堀溝校区でまちかど福祉相談所を週 1 回、南校区ではおしゃべり喫茶に合わせて月 1 回相談所を運営。また、昨年度より木田校区まちかど福祉相談所を月 1 回運営開始。

開催回数 68 回（堀溝ほほえみなんでも相談所 46 回、南なんでも福祉相談所 10 回、木田校区まちかど福祉相談所 12 回）

堀溝まちかど相談員連絡会 6 回

③ 東北エリア

エリア内の 4 校区が共同で、まちかど拡充事業運営委員会を組織し、第五校区内と宇谷（明德）校区内にまちかど福祉相談所を運営。

開催回数 67 回（第五まちかど福祉相談所 46 回、明德宇谷まちかど福祉相談所 21 回）

④ 西エリア

西校区が実施している西校区まちかど福祉相談所、及びエリアの4校区福祉委員会が共同で池の里まちかど福祉相談所を運営。第八中学校区地域包括支援センターとの共催で、出張健康&福祉なんでも相談会を同センター内などで実施。

開催回数 82回（西校区まちかど福祉相談所 45回、池の里まちかど福祉相談所 23回

八中校区地域包括と西校区まちかど福祉相談所共催の出張健康&福祉なんでも相談 6回、八中校区地域包括と池の里まちかど福祉相談所共催の出張健康&福祉なんでも相談 8回）

西校区まちかど福祉相談所相談員連絡会 12回、池の里まちかど福祉相談所運営委員会 3回、池の里まちかど福祉相談所相談員連絡会 4回、池の里まちかど福祉相談所運営委員相談員合同会議 1回

⑤ 東エリア

梅が丘まちかど福祉相談所、中央まちかど福祉相談所、明和校区まちかど福祉相談所を運営。

また、昨年度より、中央出張まちかど福祉相談所を年4回実施。東エリアでの校区主催行事に出向き出張相談を行う。

開催回数 67回（梅が丘まちかど福祉相談所 40回、中央まちかど福祉相談所 12回、中央出張まちかど福祉相談所 4回、明和校区まちかど福祉相談所 11回）出張相談 7回

梅が丘まちかど福祉相談所相談員連絡会 6回、中央まちかど福祉相談所相談員連絡会 7回

⑥ 西南エリア

和光校区まちかど福祉相談所とエリア内の4校区が共同で西南エスポアールまちかど福祉相談所を運営。

開催回数 72回

（うち、和光まちかど福祉相談所 48回、エスポアールまちかど福祉相談所 24回）

和光まちかど福祉相談所連絡会 11回、西南エスポアールまちかど相談所運営委員会 5回、西南エスポアールまちかど福祉相談所運営委員・相談員合同会議 3回

西南エスポアールまちかど福祉相談所運営委員・相談員管外研修会 1回

(3) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）連絡会の開催

個別の支援や地域の支援など、福祉課題を抱える人を地域で支える仕組みづくりのために、情報共有や問題解決の方策等について定期的に話し合いました。

開催回数 12回

3. 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業

ひとり暮らし高齢者の孤立死等の事故を予防することを目的とした緊急時安否確認（かぎ預かり）の仕組みを、全エリアの校区福祉委員会、市内 21 か所の福祉施設と協力して実施しています。内容は、65 歳以上で単身高齢者の内、利用を希望する人を対象に、玄関の鍵を預かり、緊急事態と思われるときに、鍵を使って家屋内に入り安否確認等を行うものです。

(1) かぎ預かり利用者数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

利用者数	新規申込	解約
587 人(44)	96	52

(2) 緊急対応の状況（23 件）

	校区	日時	時間帯	鍵の使用	状況
1	三井	4 月 9 日	14:00 頃	○	UR 住宅の担当者から民生委員にポストに物がたまっている住民がいると通報がある。民生委員から協力施設に連絡があり、施設職員が鍵をもって現場へ向かう。緊急連絡先などに連絡するも安否確認できず、鍵を使って入室。対象者不在。後日、緊急入院していたことがわかる。
2	三井	6 月 3 日	21:00 頃	○	近隣住民が対象者と連絡がつかないことを心配し、対象者の娘に連絡。娘から施設に連絡が入り、施設が民生委員も立ち合いを依頼。その後、対象者が鍵を失くし、家に入れず別の近隣住民宅にいたことがわかる。預かっている鍵を施設職員がもって現場へ行き開錠する。
3	点野	6 月 6 日	17:30 頃	○	訪問時に応答がないことを心配したヘルパーからケアマネジャーを通じ、地域包括職員に連絡が入る。関係者への連絡を行い、民生委員が施設にかぎをとりにいく。警察立ち合いのもと、鍵を開錠し、階段から転倒し倒れている対象者を発見。意識はあるが衰弱している状態で、救急搬送する。
4	石津	6 月 22 日	14:00 頃	○	対象者が自宅の施錠ができないまま救急搬送になったため、自宅を施錠するためにかぎ預かり事業を利用。ケアマネジャーと社協職員で施錠。

	校区	日時	時間帯	鍵の使用	状況
5	木屋	7月11日	17:00頃	×	地域包括から社協へ連絡がある。対象者がすでに亡くなっている状態で警察も対応している状況。鍵の施錠が必要な状態でどうしたらよいかという相談がある。社協職員と相談のうえ、地域包括職員が鍵を協力施設にとりにいくが、結局警察がもっている鍵で対応。
6	桜	7月11日	11:00頃	○	入院予定だった対象者が病院に現れず、病院関係者がケアマネジャーに連絡。自宅訪問するも鍵がかかっている、安否確認ができない状態。ケアマネジャーが協力施設、社協に連絡し、鍵を施設に取りに行く。社協から警察に安否確認の立会い依頼を行い、ケアマネジャー、社協職員の3者で確認を行う。家に入るも対象者は不在。その後、対象者から外出していた旨の報告が入り、安否確認ができる。
7	西	7月22日	10:50頃	○	対象者本人が入院のため、荷物（入院に必要なもの）を取りに行く際に使用。
8	中央	8月4日	15:30頃	×	対象者の知人から市高齢介護室へ対象者の安否確認がとれないとの相談がある。市高齢介護室から長男に連絡するも安否が確認できず、長男からかぎ預かり事業の利用の依頼がある。社協職員がかぎを取りに行くとともに民生委員に連絡。社協職員が現場に向かうとすでに民生委員と地域包括職員が室内に入っている状態。（ドアが開いていた）対象者は睡眠をとっていたとのこと。無事がわかる。
9	三井	8月22日	10:00頃	○	ヘルパー訪問時に対象者が不在。不審に感じケアマネジャーに報告。施設に連絡が入り、施設職員とヘルパーで入室するが対象者不在。後日、通院中だったことがわかる。
10	梅が丘	10月15日	19:30頃	○	対象者外出時に鍵紛失。対象者が協力施設へかぎを取りに来る。身分証明できるものがなかったため、協力施設から複数質問を行い、返答できたため、かぎを渡す。その後、紛失していたかぎが見つかる。再封入し協力施設へ返却。

	校区	日時	時間帯	鍵の使用	状況
11	啓明	10月24日	18:30頃	○	対象者外出時に鍵紛失。対象者と民生委員が協力施設へ来所。かぎを渡す。その後、紛失していたかぎが見つかり、再封入し協力施設へ返却。
12	三井	10月28日	10:50頃	○	対象者が自宅の鍵を紛失。対象者が取りに出来ない状況だったので、協力施設職員が現場へ向かい、開錠。家の中に予備のかぎがあったため、鍵は封入し持ち帰る。
13	桜	11月13日	0:10頃	○	対象者が緊急通報装置を誤って押してしまい、消防署が対象者宅訪問するも、かぎがかかかっていて入れない。現場に駆け付けた民生委員からかぎ預かり事業の利用者であることをきいた消防署員から協力施設へ連絡がある。異例の対応でもあるため協力施設のケアマネジャーが現場へ急行し消防署員、民生委員、ケアマネジャーで安否確認。対象者の無事を確認。かぎ再封入し協力施設へ返却。
14	桜	11月21日	9:45頃	○	配食業者から数日、お弁当が食べられていない状況を地域包括へ相談。地域包括から社協へ連絡が入り、自治会副会長、社協職員で現場に向かうもかぎが開かず、警察・消防へ救急要請。警察がガラスを割って、倒れている対象者を発見。死亡を確認。(後日、かぎを対象者が取り替えていることがわかる。)
15	成美	12月13日	10:00頃	×	介護認定調査の調査員が対象者が約束の時間になっても出てこないことを不審に思い、担当民生委員に連絡がある。民生委員が協力施設へ連絡し、かぎをとりにいったが、その際に対象者の親族から連絡があり、無事を確認。睡眠をとっていたため、調査員の来訪に気づかなかった様子。
16	三井	1月4日	6:50頃	○	対象者から腰痛で動けないと協力施設に連絡が入り、施設職員が現場へ向かい開錠。腰痛の影響で飲食ができていない状態。救急車要請と家族へ連絡を行う。その後、対象者は病院へ搬送される。

	校区	日時	時間帯	鍵の使用	状況
17	桜	1月27日	21:00頃	○	対象者が車イスから落ち、起き上がれない状態で対象者から民生委員に連絡がある。民生委員が協力施設までかぎを取りに行き、現場で開錠。対象者を車イスに移乗させる。対象者ケガなし。*対象者はもともと自力での車イスへの移乗に困難を抱える方。
18	中央	1月28日	11:30頃	○	デイサービス職員がデイサービス送迎の際に、対象者が出てこないことを不審に思い、自治会長に相談。自治会長が施設にかぎを取りに行き、警察立ち合いのもと、開錠し安否確認。対象者の無事を確認（寝ていたとのこと）。
19	第五	1月29日	9:20頃	○	対象者の家族から「対象者が電話にでない」という相談が対象者と関わりのある有償ボランティアに入り、ボランティアから協力施設に連絡が入る。施設職員が現場へ向かい、開錠するも留守。近所へ聞き取り、救急搬送されていたことがわかる。
20	桜	2月2日	18:00頃	○	対象者が家の中の平坦な場所で臀部から座り込んでしまい、その後立てなくなったことで対象者自身が救急車を呼ぶ。サイレンをきいた自治会長、副会長、民生委員が対象者宅に集まる。かぎ預かり事業利用者であることを確認し、自治会長と民生委員が協力施設へかぎをとりにいき、救急隊員と玄関から進入。救急隊員が対象者を起こす。救急搬送も検討するが、対象者も元気で早急に搬送する必要性なしと判断し、対応終了。
21	桜	2月23日	8:30頃	○	対象者の娘から対象者に電話するもつながないので心配であると民生委員に連絡がある。預かっているかぎで開錠し、安否確認。ベッド上で横たわっている対象者を発見。対象者はその後、上山病院に入院（腰の圧迫骨折だった模様）。
22	北	2月27日	15:50頃	○	「しばらく対象者宅の電気がついていない様子」と近隣住民から自治会長に相談があり、自治会長が施設にいき、かぎを持って他の福祉委員と現場へ向かう。警察立ち合いのもと、鍵を開錠し確認すると対象者はすでに亡くなってい

	校区	日時	時間帯	鍵の使用	状況
					る状態であった。事後の対応は警察に任せたとのこと。
23	楠根	3月26日	15:45頃	○	対象者の息子から民生委員に「対象者と連絡がとれないので安否確認を依頼したい」との連絡がある。息子も同席し、民生委員、自治会長、警察で開錠し、安否確認。死亡している対象者を発見。自死の可能性もあるが、刑事事件になる可能性もあるので、かぎを息子に預け、現場に警察と息子が残רי対応を行う（民生委員、自治会長は対応終了）。*以前から民生委員、地域包括がかかわっていたケース。最近よく不安になるらしく、民生委員は頻繁に話を傾聴していたらしい。

(3) かぎ保管協力施設 (21 施設)

エリア	校区	法人名	施設区分	施設名
西北	木屋	社会福祉法人 香西会	特別養護老人ホーム	香西園
	北	社会福祉法人 広成福祉会	特別養護老人ホーム	香里寿苑
	石津	社会福祉法人 たちばな会	特別養護老人ホーム	寝屋川石津園
	田井			
南	木田	株式会社 カームネスライフ	グループホーム	ここから木田元宮
	楠根	社会福祉法人 秋桜福祉会	グループホーム	楠根の里
	堀溝	医療法人 河北会	介護療養型医療施設	河北病院
		社会福祉法人 香西会	特別養護老人ホーム	香西テレサ
	南			
東北	国松緑丘	社会福祉法人 東和福祉会	特別養護老人ホーム	寝屋川苑
	第五			
	三井			
	明德・宇谷			
西	池田	社会福祉法人 栄光会	特別養護老人ホーム	寝屋川十字の園
	桜			
	点野	医療法人 大雲会	介護老人保健施設	点野やすらぎの里
	西	株式会社 エニマツそよ風	グループホーム	寝屋川ケアセンターそよ風
東	梅が丘	社会福祉法人 東香会	特別養護老人ホーム	いちょう園
	明和			
	中央	株式会社 エフエムシー介護サービス	グループホーム	FMC グループホーム
	東	社会福祉法人 淳風会	ケアハウス	グリーンヒル淳風
		社会福祉法人 香西会	特別養護老人ホーム	香西会スバル
西南	神田	社会福祉法人 いわき会	特別養護老人ホーム	神田の里
		社会福祉法人 真清福祉会	ケアハウス	ロイヤルライフ・カミダ
	啓明	株式会社 白寿会	要介護対応 高齢者マンション	グレイス寝屋川
	成美	社会福祉法人 いわき会	グループホーム	錦の里
	和光	医療法人 協仁会	グループホーム	第2なごやか
		社会福祉法人 真清福祉会	特別養護老人ホーム	ロイヤルライフ・天寿苑

(4) 関係機関との連絡調整 (4回)

社会福祉法人東和福祉会
第十中学校区地域包括支援センター
社会福祉法人栄光会
寝屋川警察署

(5) 21 協力施設合同会議

第1回 6月 28日(火) 出席 16施設

- 〔1〕 東エリア寸劇PRの紹介
- 〔2〕 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の現状報告
- 〔3〕 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 合同模擬訓練(報告と依頼)
- 〔4〕 これからの事業展開について(意見交換)

第2回 2月 14日(火) 出席 17施設・寝屋川警察署

- 〔1〕 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の現状について(報告)
- 〔2〕 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 合同模擬訓練について(報告)
- 〔3〕 施設で工夫していること、課題に感じていることなどについて情報交換

(6) かぎ預かり事業への視察対応等

8月31日(水) 2人 堺市社会福祉協議会(美原区社会福祉協議会)
9月30日(金) 15人 伊賀市上野北部地区 民生委員児童委員協議会
1月30日(月) 22人 大津市社会福祉協議会
2月10日(金) 20人 吹田市社会福祉協議会
2月11日(土) 21人 「一人暮らし高齢者の社会的孤立予防に向けた先進的な見守り活動におけるシンポジウム」にて報告

4. ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティアの育成及び需給調整など活動の支援を行うことによってボランティア活動の効果的な推進を図っています。

(1) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催（開催回数：6回）

第1回 5月12日（木） 14人

- 〔1〕生活困窮者自立支援事業について（説明）
- 〔2〕ボランティアセンター通信 96号（5月1日号）発行（報告）
- 〔3〕平成28年度ボランティアセンター事業年間予定とボランティア講座開催について（連絡）
 - ①ボランティア講座（基礎Ⅰ）
 - ②ボランティア講座（基礎Ⅱ）
- 〔4〕第11回にこにこボランティアまつりについて（連絡）
- 〔5〕平成28年度登録ボランティア状況について

第2回 7月14日（木） 15人

- 〔1〕正副委員長の選出について
- 〔2〕ボランティアセンター並びに運営委員会の役割機能（説明）
- 〔3〕新規団体登録の申請 1件（検討）
- 〔4〕ボランティアセンター通信 97号（7月1日号）発行（報告）
- 〔5〕平成28年度ボランティア講座等開催について（連絡）
 - ①夏のボランティア体験プログラムの実施
 - ②ボランティア講座（基礎Ⅰ）の進捗状況
- 〔6〕第11回にこにこボランティア祭りについて（報告）

第3回 9月8日（木） 11人

- 〔1〕ボランティアセンター通信 98号（9月1日号）発行（報告）
- 〔2〕平成28年度ボランティア講座等開催について（報告と連絡）
- 〔3〕平成29年度の事業計画について（検討）

第4回 11月10日（木） 15人

- 〔1〕ボランティアセンター通信 99号（11月1日号）発行（報告）
- 〔2〕平成28年度ボランティア講座等の進捗状況について（報告と連絡）
- 〔3〕平成28年度河北ブロック交流会について（報告）
- 〔4〕登録ボランティアグループに対する歳末配分金について（連絡）

第5回 1月12日（木） 13人

- 〔1〕ボランティアセンター通信 100号（12月20日号）発行（報告）
- 〔2〕新規団体登録の申請 1件（検討）
- 〔3〕ボランティアセンター登録団体 申請・更新の手続きについて
- 〔4〕平成28年度ボランティア講座等の進捗状況について（報告）

第6回 3月9日（木） 12人

- 〔1〕新規団体登録の申請について（検討）
- 〔2〕ボランティアセンター登録団体申請及び更新手続きについて（報告）

(7) 緊急時対応合同模擬訓練（校区福祉委員会と協力施設と協働で実施）

校 区	日 程	人 数	会 場	施 設	警察 参加
池 田	1 月 28 日 (土)	25	池田東町公民館	十字の園	○
石 津	10 月 22 日 (土)	20	石津中町公民館	寝屋川石津園	○
宇谷 (明德)	3 月 13 日 (月)	22	宇谷小学校	寝屋川苑	—
梅 が 丘	11 月 13 日 (日)	13	4 集会所	いちょう園	○
神 田	12 月 15 日 (木)	22	西南コミセン	神田の里 ロイヤルライフ・カミダ	○
北	3 月 7 日 (火)	38	寿町公民館	香里寿苑	○
木 田	11 月 23 日 (水)	48	下木田町公民館	ここから木田元宮	○
楠 根	2 月 18 日 (土)	20	楠根南町公民館	楠根の里	○
国松緑丘	8 月 17 日 (水)	13	国松会館	寝屋川苑	—
啓 明	11 月 29 日 (火)	25	高柳 7 丁目公民館	グレイス寝屋川	○
木 屋	3 月 6 日 (月)	19	香里西之町公民館	香西園	○
桜	1 月 24 日 (火)	23	保健福祉センター	十字の園	○
点 野	1 月 21 日 (土)	32	府営点野住宅集会所	点野やすらぎの里	○
成 美	9 月 28 日 (水)	21	エスポアール	錦の里	○
田 井	2 月 18 日 (土)	23	音羽町公民館	寝屋川石津園	○
第 五	11 月 15 日 (火)	20	東北コミセン	寝屋川苑	—
中 央	2 月 12 日 (日)	30	平池会館	FMC グループホーム	—
西	9 月 9 日 (金)	24	池の里市民交流センター	そよ風	○
東	11 月 19 日 (土)	22	東コミセン	グリーンヒル淳風 香西会スバル	○
堀 溝	12 月 15 日 (木)	14	堀溝いきいき教室	河北病院 香西会テレサ	○
三 井	3 月 7 日 (火)	12	三井小学校	寝屋川苑	—
南	12 月 7 日 (水)	26	南コミセン	香西会テレサ	○
明 和	2 月 20 日 (月)	15	明和自治会館	いちょう園	—
和 光	6 月 19 日 (日)	33	御幸東町公民館	第 2 なごやか 天寿苑	—

- [3] ボランティア活動見本市の開催について
- [4] ボランティアセンター通信 101 号 (3 月 1 日号) 発行 (報告)
- [5] 平成 29 年度のボランティアセンター事業について

②ボランティア相談員連絡会の開催 (開催回数 : 12 回)

開催日 (出席者) 4 月 25 日 (8 人)、5 月 23 日 (7 人)、6 月 27 日 (8 人)、7 月 25 日 (9 人)、
8 月 22 日 (9 人)、9 月 26 日 (7 人)、10 月 24 日 (9 人)、11 月 28 日 (7 人)、
12 月 12 日 (5 人)、1 月 23 日 (7 人)、2 月 27 日 (7 人)、3 月 27 日 (8 人)、

(2) ボランティア研修事業

①ボランティア講座 (基礎 I) の開催 (開催回数 : 4 回)

ボランティア講座〔基礎 I〕

講座名	災害ボランティアセンタースタッフ養成講座
開催日	8 月 29 日 (月)、9 月 5 日 (月)
会 場	保健福祉センター 5 階 多目的ホール・研修室 5
参加数	8 人 (内 4 人が登録)
内 容	講義「災害時対策マニュアル解説、避難所運営ゲーム「HUG」による避難所運営机上訓練」(事務局職員による解説) 訓練「災害ボランティアセンター設置運営模擬訓練とエアテント設置等機材等の操作確認」

ボランティア講座〔基礎 I〕

講座名	コーヒーの美味しい！淹れ方講座
共 催	神田校区福祉委員会ボランティア部会
開催日	10 月 29 日 (土)
会 場	西南コミュニティセンター 2 階 料理室
参加数	13 人
内 容	サロンや様々な地域のイベントでふるまわれるコーヒーを美味しく淹れる方法を伝え、新たに地域福祉活動に参加する担い手を養成 神田校区福祉委員会ボランティア部会活動紹介
講 師	高瀬 修一 (指定障害福祉サービス事業者 なにわの宮 所長)

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名 配食ボランティア養成講座
共 催 和光校区福祉委員会ボランティア部会
開催日 11月5日(土)
会 場 和光小学校 2階 家庭科室・ランチルーム
参加数 30人
内 容 旬の食材を使って調理実習・試食を行う。
地域の配食ボランティア活動の説明等

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名 私にもちょっとだけできるボランティア(ちょいぼら)講座
共 催 北校区福祉委員会ボランティア部会
開催日 11月22日(火)、11月29日(火)
会 場 西北コミュニティセンター、香里南之町(西)公民館
参加数 35人
内 容 地域ボランティア活動の大切さを伝えます。
具体的なボランティア活動の見学と紹介

②ボランティア講座〔基礎Ⅱ〕の開催（開催回数：1回）

ボランティア講座〔基礎Ⅱ〕

講座名 笑顔あふれるレクリエーション講座
～心が動けば体も動く！レクリエーションの底力とは？～
開催日 11月4日(金)、11月7日(月)
会 場 保健福祉センター 5階 多目的ホール
参加数 71名
内 容 レクリエーションが持つ力とは？
レクリエーションプログラムを楽しもう！
講 師 1日目：桃山学院大学 准教授 竹内 靖子 氏
2日目：NPO 法人キャンピズ 代表理事 水流 寛二 氏

③ボランティア講座（シニア編）の開催（開催回数：１回）＜市からの委託事業＞

講座名	作ってみよう！便利な自助具講座
開催日	１月２０日（金）、１月２７日（金）
会 場	保健福祉センター ５階 会議室 3-1・2・3
参加数	２７人
内 容	自助具とは？ 高齢者や障害者などの日常生活（動作）で困難なことを知る 身近な生活用品を加工してオーダーメイドの『自助具』を作成する
講 師	１日目：おかもと訪問看護ステーション 作業療法士 岡本 健太 氏 ２日目：おかもと訪問看護ステーション 作業療法士 小西 誠 氏

④ボランティア体験プログラムの実施（大阪府社協との共催事業）

実施日程	受け入れ施設	参加人数	参加日数
７月１日～９月３０日	特別養護老人ホームロイヤルライフ天寿苑	４	１３
７月１日～９月３０日	デイサービスセンター寝屋川十字の園	—	—
７月１日～９月３０日	ワークセンター小路	—	—
７月１日～９月３０日	すばる・北斗福祉作業所	—	—
計	４施設	４	１３

(3) ボランティアセンター通信の発行（発行：６回／各 2,000 部発行）

発行日	号	主 な 内 容
５月１日	96	社協 企業と保育園の架け橋に VC に新しい風
７月１日	97	派遣職員の日と心 九州の被災地で活動
９月１日	98	あちこちでがんばる中学生 大きく育てVの芽
11月１日	99	やってみて、聞いて、考える 小中学校での福祉教育
12月20日	100	活動はじめて30年 登録Vグループ『ほうれんそう』
3月１日	101	重要な防災意識 知識、活動能力 校区V部会長会管外研修

(4) ボランティア活動支援事業

① 活動に関する相談・援助の実施

活 動 依 頼 相 談	240(24)
活 動 参 加 希 望 相 談	27(3)
各 種 情 報 提 供	27(-)
計	294(27)

② ボランティアの育成・組織化の実施

ボランティアセンターへの相談者に地域や施設などでボランティア活動が始められるよう、また、継続して活動が続けられるよう個別相談に応じ個人ボランティアや組織の育成に努めました。

③ 活動に必要な場所の提供（ボランティアセンター室）

時間帯	計
午前	132 (△32)
午後	116 (△6)
夜間	6 (△11)
計	254 (△49)

④ 学校等からの依頼に基づく調整

学校等からの依頼に基づき、ボランティアセンター主催のボランティア養成講座後グループ結成をした「わくわく未来塾」の活動を紹介し、日程調整などを行いました。

内 容	平和学習	伝承遊び	布ぞうり
件 数	4	13	12
参加者	333	898	74
スタッフ数	36	146	72

(5) ボランティア活動の需給調整の実施

(施設・団体分)

件 数	169 (△113)
参加V数	1,335 (22)

(6) 登録ボランティアグループ連絡会の開催（開催回数：3回）

第1回 4月25日（月）出席 27団体

- 〔1〕 にこにこボランティアまつりチラシの配布について
- 〔2〕 プログラム進捗状況
- 〔3〕 その他

①大阪府市町村ボランティア連絡会について

②ボランティアグループからのお知らせ

第2回 10月28日（金）出席 21団体

高齢者サポートセンター運営協議会 三和 清明氏より『住民参加型「在宅」生活支援活動説明会』を開催するにあたり、内容説明・参加の呼びかけを行う

- 〔1〕 第12回にこにこボランティアまつりについて（検討）
- 〔2〕 大阪府市町村ボランティア連絡会について（報告と連絡）
- 〔3〕 平成28年度河北ブロック交流会開催について（報告）
- 〔4〕 その他

①ボランティアグループからのお知らせ

②事務局からのお知らせ

第3回3月16日(木) 出席 31団体

[1] ボランティアセンター登録要領の変更について(説明)

[2] 活動発表「摂南大学ボランティアサークルエンジョイ」

「日曜大工ボランティアとんかちクラブ」

「わくわく未来塾」

[3] 情報交換と交流

(7) ボランティアまつりの開催(登録ボランティアグループ連絡会主催)

イベント

実施日 5月28日(土)から6月3日(金)まで

会場 総合センター 1階・2階講堂 ほか

来場者 約400人

実行委員会の開催 4月25日(月)

(8) 資材教材の貸出し

行政や学校、ボランティアグループや市民活動団体に対して貸出しを行いました。

① 教材用車イス貸出状況

件数	36(1)
貸出台数	1,204(△53)

② 教材用アイマスク貸出状況

件数	6(△4)
貸出枚数	300(△744)

③ 教材用擬似体験装具貸出状況

件数	13(△2)
貸出台数	298(△101)

④ 教材用点字板貸出状況

件数	8(1)
貸出枚数	1,100(285)

⑤ 教材用ビデオプロジェクター貸出状況

件数	89(△6)
貸出台数	103(△17)

*上記①～⑤貸出台数・貸出枚数は延べ数で記載

(9) ボランティアセンターに登録している団体・個人

団体：55 団体（1,331 人） 個人：42 人

(10) 避難所運営ゲーム（HUG）訓練体験

開催日 2 月 3 日（金）

会 場 木田元宮公民館

内 容 木田校区ボランティア部会で避難所運営ゲームによる訓練体験

参加者 16 人

(11) 災害用主な備品状況

備品	H28 年配備数	配備済数	計
収納コンテナボックス	-	12	12
エアテント	-	3	3
ビブス（ベスト）	250	350	600
軍手	300	200	500
カゴ台車	-	4	4
折り畳み式リヤカー	-	3	3
蛍光灯	-	6	6
発電機	-	3	3
投光器	-	5	5
ヘルメット	-	50	50
チェーンソー	-	2	2
長靴	8	15	15
雨具	13	2	15
看板（標示）	7	2	9

※市よりビブス（ベスト）250 着と軍手 300 双の提供を受けた

5. 福祉教育推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、子どもから高齢者、障害者など社会福祉への関心を深め、ひとり一人が自分に出来ることを考え行動する力を育む活動を行っています。

(1) 福祉体験学習説明会の開催

学校関係者、校区福祉委員会を対象に、福祉体験学習ボランティア紹介や依頼調整に関わる説明会を行った。

開催日：5月9日（月）

会 場：保健福祉センター5階 多目的ホール・研修室5

参加者数：80人

(2) ボランティアグループ等で対応した福祉体験学習（実施回数：70回）

① 擬似体験学習（対応団体：うらしまさん・各校区福祉委員会）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内 容		
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
1	4月4日	市新任職員研修		9	-	○	○	○
2	4月5日	市新任職員研修		8	-	○	○	○
3	5月20日	国松緑丘小	5年	55	国松緑丘	○		
4	6月3日	南小	4年	76	南		○	
5	6月8日	西小	6年	74	西			○
6	6月17日	南小	6年	66	南			○
7	6月27日	第五小	6年	114	第五			○
8	6月28日	第五小	6年	76	第五			○
9	7月1日	桜小	4年	72	桜		○	
10	8月22日	点野小	3年	91	点野		○	
11	8月23日	啓明小	4年	62	啓明		○	
12	8月29日	楠根小	5年	34	楠根			○
13	8月31日	中央小	4年	85	中央		○	
14	9月6日	同志社中	1年	244	-	○		
15	9月7日	第五小	5年	182	第五	○		
16	9月9日	聖母小	6年	93	-			○
17	9月12日	聖母小	4年	85	-		○	
18	9月15日	点野小	3年	91	点野		○	
19	9月16日	東小	6年	89	東	○		
20	9月20日	石津小	6年	60	石津	○		
21	9月28日	池田小	4年	103	池田		○	
22	10月7日	聖母小	6年	93	第五			○
23	10月12日	第五小	5年	110	第五	○		
24	10月13日	第五小	5年	73	第五	○		

No.	実施日	実施先		人数	校 区 福 祉 委 員 会	内 容		
						車イス 体験	視覚障害 体験	高齢者等 疑似体験
25	10 月 20 日	啓明小	4 年	61	啓明		○	
26	10 月 21 日	楠根小	5 年	34	楠根			○
27	10 月 24 日	同志社中	1 年	82	-	○		
28	10 月 25 日	同志社中	1 年	162	-	○		
29	10 月 27 日	東小	6 年	86	東	○		
30	10 月 31 日	石津小	6 年	60	石津	○		
31	11 月 2 日	聖母小	4 年	87	第五		○	
32	11 月 7 日	中央小	5 年	78	中央	○		
33	11 月 8 日	中央小	6 年	89	中央	○		
34	11 月 10 日	池田小	4 年	103	池田		○	
35	11 月 15 日	聖母小	5 年	78	第五	○		
36	11 月 18 日	神田小	5 年	99	神田	○		
37	11 月 22 日	成美小	5 年	67	成美	○		
38	11 月 24 日	点野小	5 年	91	点野	○		
39	11 月 30 日	楠根小	3・4 年	60	楠根	○		
40	12 月 2 日	池田小	5 年	88	池田	○		
41	12 月 6 日	神田小	4 年	81	神田		○	
42	12 月 19 日	点野小	6 年	91	点野			○
43	1 月 16 日	東小	4 年	86	東		○	
44	1 月 17 日	木田小	6 年	83	木田			○
45	1 月 19 日	石津小	4 年	66	石津		○	
46	1 月 31 日	中央小	4 年	85	中央		○	
47	2 月 8 日	梅が丘小	4 年	47	梅が丘		○	
48	2 月 10 日	木田小	4 年	81	木田		○	
計				3,990	延べ 41	21	19	12

* 対応団体 うらしまさん⇒高齢者疑似体験ボランティアグループ

②点字 （対応団体：つくしの会）

No.	実施日	実施先		人数
1	6月30日	国松緑丘小	3,4年	120
2	9月12日	桜小	3年	70
3	9月26日	梅が丘小	4年	47
4	10月24日	啓明小	4年	61
5	10月17日	堀溝小	3年	53
6	11月7日	神田小	3年	84
7	11月14日	木屋小	3年	83
8	12月19日	中央小	3年	78
計				596

* 対応団体 つくしの会⇒点訳ボランティアグループ

③手話 （対応団体：ひびき）

No.	実施日	実施先		人数
1	6月17日	第五小	3年	220
2	7月15日	池田小	3年	103
3	8月31日	桜小	2年	76
4	9月27日	東小	2年	100
5	10月7日	北小	3年	119
6	10月13日	中央小	2年	93
7	11月4日	聖母小	3年	66
8	11月29日	国松緑丘小	2年	61
9	1月26日	神田小	2年	78
10	2月23日	西小	3年	63
計				979

* 対応団体 ひびき⇒手話サークル

④障害のある当事者の話（対応団体：市身体障害者福祉会視覚部会、当事者）

No.	実施日	実施先		人数	対応団体	内 容		
						視覚障害について	介助犬について	車イス生活について
1	10月5日	東小	3年	99	当事者		○	
2	11月10日	啓明小	4年	62	視覚部会	○		
3	1月19日	東小	5年	93	当事者			○
4	1月26日	第四中	1年	113	視覚部会	○		
計				367	延べ 4	2	1	1

(3) 校区福祉委員会単独で対応した福祉体験学習（実施回数：18回）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内 容		
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
1	10月4日	木屋小	6年	93	木屋			○
2	10月4日	西小	5年	68	西	○		
3	10月13日	田井小	5年	67	田井		○	
4	10月18日	南小	5年	68	南	○		
5	10月18日	西小	4年	73	西		○	
6	10月28日	北小	5年	118	北		○	○
7	11月10日	北小	6年	98	北	○		
8	11月12日	明和小リパティフェスタ		600	明和	○		
9	11月15日	和光小	4年	98	和光	○	○	
10	11月16日	木屋小	5年	91	木屋	○		
11	11月18日	堀溝小	6年	43	堀溝			○
12	11月25日	堀溝小	5年	45	堀溝	○		
13	11月29日	堀溝小	4年	45	堀溝		○	
14	11月30日	聖母中	3年	30	第五	○		
15	12月2日	北小	4年	118	北		○ ※当事者の話	
16	12月7日	聖母中	3年	30	第五	○		
17	12月13日	田井小	6年	89	田井	○		
18	3月21日	第十中	1年	151	宇谷(明德)	○		
計				1,925	延べ 18	11	6	3

(4) 福祉啓発を目的とした市民向けのシンポジウムの開催

開催日 10月26日(水)

会場 保健福祉センター5階多目的ホール

参加者 60人

内容 「ビッグイシューの挑戦～何度でもやり直せる社会のつくり方」

講師 ビッグイシュー日本代表 佐野 章二 氏

ビッグイシュー販売者 山本 新一 氏

(5) 福祉教育推進セミナーの開催

地域福祉の人材育成や啓発など福祉教育の充実を目指し、これから大切にしていきたい福祉教育の視点について考えました。

開催日 3月17日(金)

会場 総合センター4階 第2研修室

参加者 58人

内容 「地域のニーズに対応する福祉教育について考える」

講師 大阪教育大学 准教授 新崎 国広 氏

6. 当事者組織支援事業

同じ福祉問題を持つ人たちを組織化し、問題の当事者という立場で悩みや問題の共有や問題解決を図るための活動、関係機関とのネットワークづくり等に取り組む当事者（ひとり暮らし高齢者の会・介護者の会）の支援を行っています。

(1) 組織運営の支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会

[1] ひとり暮らし高齢者の会連絡会の開催（開催回数：6回）

- 4月19日（火） 13人 事業報告・決算、事業計画・予算について
- 6月21日（火） 12人 役員改選について、会長交流会について
- 8月16日（火） 9人 会長交流会のふりかえり、リーダー研修会について
- 10月18日（火） 8人 リーダー研修会について、にぎわいバザーについて
- 12月20日（火） 10人 リーダー研修会のふりかえり、にぎわいバザーについて
- 2月21日（火） 10人 にぎわいバザーについて、各会各種書類提出について

[2] ひとり暮らし高齢者の会役員会の開催（開催回数：5回）

- 5月25日（水） 5人 会長交流会について
- 9月28日（水） 5人 リーダー研修会について、にぎわいバザーについて
- 11月24日（木） 5人 リーダー研修会について、にぎわいバザーについて
- 1月25日（水） 5人 にぎわいバザーについて、編集委員会について
- 3月22日（水） 5人 にぎわいバザーのふりかえり、29年度に向けて

[3] 連絡会ニュースの発行（発行：4回）

発行月 4月、7月、10月、2月 発行部数 600部

[4] 会長交流会

7月21日（木） 11人 喜多八

[5] リーダー研修会

12月14日（水） 51人 保健福祉センター 多目的ホール
テーマ「認知症について」
講師 石田クリニック 院長 石田 徹 氏

[6] にぎわいバザー

3月17日（金） 来場者約 150人 総合センター1階ロビー

会員数	連絡会加入会数	
270人(△82)	11会(△1)	平成28年4月1日現在
247人(△23)	10会(△1)	平成29年3月31日現在

② 介護者の会

[1] 介護者の会理事会の開催（開催回数：12回）

- 4月 5日（火） 10人 役員改選について、平成28年度総会について
- 4月 19日（火） 13人 総会資料（平成27年度事業報告・決算等）の作成
- 5月 10日（火） 13人 総会実施に向けて（役割分担等）
- 6月 7日（火） 8人 総会ふりかえり

6月 7日(火) 8人 総会ふりかえり
 7月 5日(火) 11人 今後の会活動について
 9月 6日(火) 10人 リフレッシュ事業について
 10月 4日(火) 11人 リフレッシュ事業について、新年交流会について、慶弔の内規について
 11月 1日(火) 10人 新年交流会について、
 12月 6日(火) 10人 新年交流会について、
 1月 10日(火) 10人 新年交流会について
 2月 7日(火) 9人 新年交流会のふりかえり、リフレッシュ日帰りバスツアーについて

3月 7日(火) 9人 新年交流会のふりかえり、リフレッシュ日帰りバス旅行について

[2] 介護サロンの実施 (開催回数: 47回 / 相談件数: 電話相談 178件 来所相談 21件)
 介護者の会会員や一般市民が、気軽に立ち寄って介護に関する相談ができる場として、毎週木曜日に介護サロンを実施しました。

[3] 認知症介護家族交流会の実施 (開催回数: 6回)

4月 15日(金) 17人参加、 6月 17日(金) 12人参加、 8月 19日(金) 10人参加
 10月 21日(金) 16人参加 12月 16日(金) 14人参加 2月 17日(金) 14人参加

[4] 「介護者だより」の発行 (発行: 3回)

発行月 4月、7月、12月 発行部数 800部

[5] 分会活動の実施

会員を市内6ブロックに分け、分会ごとに会員懇談会・交流会等活動を行いました。
 (分会活動開催回数・内容)

[1分会] 7回 会員懇親会、出前講座

[2分会] 2回 会員懇親会

[3分会] 1回 会員懇親会

[4分会] 9回 会員懇談会

[5分会] 11回 会員懇談会、健康推進教室、健康体操、出前講座、日帰り旅行等

[6分会] 3回 出前講座、会員懇談会

[6] 北河内4市介護者(家族)の会連絡会に参加

10月 3日(月) 2人 門真市保健福祉センター

12月 5日(月) 10人 大東市総合福祉センター(全体交流会)

[7] 大阪府介護者(家族)の連絡会に参加

6月 9日(木) 3人 大阪府社会福祉指導センター

7月 25日(月) 2人 大阪府社会福祉指導センター

2月 20日(月) 6人 大阪府社会福祉指導センター

会員数	正会員	38人(△7)	準会員	82人(2)	賛助会員	58人(△3)
	計	178人(△8)	〔平成29年3月31日現在〕			

(2) コミュニティワークとしての支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会への支援

ひとり暮らし高齢者の福祉推進活動を活性化し会の発展に繋がるように、広報活動や情報交換など連絡会を通じて支援を行っています。会員の減少や、会員及び会活動を運営する役員の高齢化が進み、役員の後継者問題など、活動が難しくなっている会もあり、支援の在り方が大きな課題となっています。

② 介護者の会への支援

月に1度開催されている理事会では会活動について協議し、理事を通じて会員に情報提供が行われています。各分会で情報交換や懇談会が開かれています。

事務局では理事会や分会活動などが円滑に進められるよう、また、特に認知症家族を介護されている方などの支援する認知症部会へのサポートを、高齢介護室や地域包括支援センターとも連携を図りながら行っています。

7. 家族介護者交流事業(開催回数：3回)＜市からの受託事業＞

高齢者等を在宅で介護する家族のリフレッシュと交流をはかることを目的に実施しました。

第1回目：実施日 9月27日(火)
行き先 京都府亀岡市(湯の花温泉など)
内 容 交流食事会
参加者 介護者 18人 協力者 3人

第2回目：実施日 12月5日(月)
会 場 ニューコマンダーホテル
内 容 第1部
「介護が楽になるアロマセラピーとタッチケア」講座と体験
講師：NPO 法人関西アロマセラピストフォーラム
副理事長 宮里 文子 氏
第2部 交流食事会
参加者 介護者 15人 協力者 2人

第3回目：実施日 3月9日(木)
会 場 保健福祉センター5階 多目的ホール
内 容 第1部 交流食事会
第2部「アコースティックギター演奏会
演奏グループ：寝屋川 AG 愛好会
参加者 介護者 12人 協力者 2人

8. 献血推進事業

各コミセンエリアの校区福祉委員会及び各種団体等の協力のもと、地域・団体献血を実施した。
また、赤十字血液センターが主体となり、寝屋川市内の事業所、学校、街頭にて献血を実施した。

(1) 地域・団体献血の実施（実施回数：20回）

月日	会 場	主 催	受付数	採血数
5	17 アルプラザ香里園	寝屋川ライオンズクラブ	35	25
	26 京阪寝屋川市駅東口前	寝屋川中央ライオンズクラブ	56	43
6	3 イズミ東寝屋川店駐車場	東エリア4校区福祉委員会	21	17
	4 総合センター	寝屋川市歯科医師会	43	36
7	25 アルプラザ香里園	西北エリア4校区福祉委員会	53	38
8	3 市役所本庁	北大阪赤十字血液センター	37	27
9	15 成田山不動尊駐車場	東北エリア4校区福祉委員会	52	39
	16 エスポアール	西南エリア4校区福祉委員会	33	23
10	2 総合センター	寝屋川市薬剤師会	24	18
	2 堀溝小学校	南エリア4校区福祉委員会	27	18
	28 コーナン昭栄店	南エリア4校区福祉委員会	18	12
11	4 京阪寝屋川市駅東口前	東エリア4校区福祉委員会	40	35
	18 総合センター	西エリア4校区福祉委員会	34	30
1	6 寝屋川市役所	北大阪赤十字血液センター	40	34
	17 京阪寝屋川市駅東口前	寝屋川ライオンズクラブ	22	14
	19 アルプラザ香里園	寝屋川中央ライオンズクラブ	36	31
2	14 啓明小学校	西南エリア4校区福祉委員会	12	7
	27 アルプラザ香里園	西北エリア4校区福祉委員会	44	29
3	2 総合センター	西エリア4校区福祉委員会	41	40
	24 成田山不動尊駐車場	東北エリア4校区福祉委員会	34	26
計			702(△101)	542(△61)

(2) 事業所、学校、街頭献血の実績

区分	実施回数	受付数	採血数
事業所	33(△26)	968(△1,239)	819(△993)
学 校	9(-)	446(△70)	354(△57)
街 頭	27(20)	1,145(872)	948(740)
計	69(△6)	2,559(△437)	2,121(△310)

9. 福祉有償運送事業

移動が困難な高齢者や障害者等を対象に、リフト付き車両による移送サービスを行いました。

(1) 移送サービス事業<市からの一部受託事業>

① 移送サービスの実施件数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予約件数(件)		314 (△47)	275 (△29)	313 (9)	317 (29)	321 (1)	299 (1)
実施 件数	高齢者	138 (1)	111 (△18)	138 (10)	135 (10)	143 (5)	127 (△1)
	高齢+障害者	66 (△22)	57 (△7)	54 (△16)	55 (△7)	62 (△12)	60 (△1)
	障害者	37 (-)	42 (9)	39 (3)	38 (△7)	34 (△4)	41 (6)
	その他	17 (△4)	27 (10)	23 (2)	27 (11)	16 (2)	17 (△5)
	合 計(件)	258 (△25)	237 (△6)	254 (△1)	255 (7)	255 (△9)	245 (△1)
V 参加数(人)		174 (4)	176 (14)	178 (6)	174 (2)	178 (△4)	172 (2)
利用 目的	通院など	175 (△28)	147 (△18)	181 (△11)	163 (△11)	173 (△5)	155 (△10)
	施設送迎	44 (5)	47 (17)	41 (17)	52 (17)	42 (15)	47 (8)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (△8)	4 (△7)	2 (△7)	- (△11)	- (△10)	- (△8)
	その他	39 (6)	39 (2)	30 (-)	40 (12)	40 (△9)	43 (9)
	合 計(件)	258 (△25)	237 (△6)	254 (△1)	255 (7)	255 (△9)	245 (△1)
稼働日数(日)		30 (-)	31 (-)	30 (-)	31 (1)	31 (1)	30 (-)
走行距離(km)		5,463 (△274)	5,301 (△58)	5,381 (△224)	4,917 (△236)	5,533 (△195)	5,379 (357)

		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
予約件数(件)		327 (△21)	319 (9)	295 (△26)	301 (24)	281 (△24)	317 (5)	3,679 (△69)
実施 件数	高齢者	151 (5)	134 (5)	128 (△30)	127 (9)	117 (△19)	131 (-)	1,580 (△23)
	高齢+障害者	55 (△20)	70 (△3)	46 (△16)	50 (△12)	51 (△11)	60 (△3)	686 (△130)
	障害者	39 (△5)	37 (△3)	36 (3)	40 (2)	38 (1)	42 (△1)	463 (4)
	その他	24 (-)	22 (5)	26 (7)	23 (6)	25 (5)	21 (1)	268 (40)
	合 計(件)	269 (△20)	263 (4)	236 (△36)	240 (5)	231 (△24)	254 (△3)	2,997 (△109)
V 参加数(人)		172 (△6)	172 (-)	162 (-)	158 (-)	160 (△6)	174 (△4)	2,050 (8)
利用 目的	通院など	184 (△12)	167 (△6)	163 (△15)	163 (1)	156 (△23)	165 (△11)	1,992 (△149)
	施設送迎	43 (9)	46 (16)	34 (-)	42 (10)	44 (9)	54 (22)	536 (145)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (△8)	2 (△4)	- (△3)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (△66)
	その他	42 (△9)	48 (△2)	39 (△18)	35 (△6)	31 (△10)	35 (△14)	461 (△39)
	合 計(件)	269 (△20)	263 (4)	236 (△36)	240 (5)	231 (△24)	254 (△3)	2,997 (△109)
稼働日数(日)		31 (-)	30 (-)	28 (-)	28 (-)	28 (-)	31 (-)	359 (2)
走行距離(km)		5,384 (△719)	5,440 (98)	4,725 (△1,003)	4,795 (△192)	4,505 (△453)	5,241 (△114)	62,064 (△3,013)

② 移送ボランティアグループの育成・支援

〔1〕移送ボランティア連絡会 10 回

〔2〕登録ボランティア数 41 人 (△1) < 運転 30 人、介助 7 人、 地図作成・事務 4 人 >

③ 利用登録者数

区分	高齢者	高齢＋障害者	障害者	その他	計
登録者数	850 (222)	321 (50)	105 (14)	79 (23)	1,355 (309)

(2) 高齢者外出援助サービス<市からの受託事業>

公共交通機関を使用して外出することが困難な高齢者を対象に、市内6地区の運営委員会によるボランティアが、スロープ式軽車両による外出援助サービスを行いました。

①実施件数

月		4	5	6	7	8	9
予約件数(件)		302 (△11)	269 (12)	293 (△4)	286 (△13)	292 (8)	316 (8)
実施件数	高齢者	277 (5)	241 (14)	265 (-)	259 (△4)	255 (8)	275 (4)
	その他	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	6 (6)	- (-)
	合 計(件)	277 (5)	241 (14)	266 (1)	259 (△4)	261 (14)	275 (4)
V 参加数(人)		456 (△29)	436 (39)	475 (4)	442 (△12)	483 (47)	453 (△22)
利用目的	通院など	240 (△4)	209 (12)	217 (△11)	221 (△8)	221 (10)	232 (4)
	施設送迎	4 (△3)	3 (△4)	5 (△2)	6 (△1)	7 (-)	9 (△1)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (△1)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (△2)	- (△1)	- (△2)	1 (△1)	- (-)	- (-)
	その他	33 (14)	29 (7)	44 (17)	31 (6)	33 (4)	34 (1)
	合 計(件)	277 (5)	241(14)	266 (1)	259 (△4)	261 (14)	275 (4)
稼働日数(日)		134 (1)	118(△2)	134 (-)	134 (-)	138 (6)	129(△7)
走行距離(km)		4,254 (△262)	4,052 (672)	4,210 (△45)	4,332 (190)	4,231 (593)	4,043 (△265)

月		1 0	1 1	1 2	1	2	3	計
予約件数(件)		307(3)	319(64)	285(△4)	258(△39)	286(△17)	277(△13)	3,490(△6)
実施件数	高齢者	278(△5)	273(43)	259(△1)	213(△51)	251(△16)	251(△17)	3,097(△20)
	その他	- (-)	- (△6)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	7(1)
	合 計(件)	278(△5)	273(37)	259(△1)	213(△51)	251(△16)	251(△17)	3,104(△19)
V 参加数(人)		465(△7)	462(30)	433(10)	380(△70)	426(△3)	447(△40)	5,358(△53)
利用目的	通院など	237(△2)	240(47)	215(△3)	179(△55)	214(△30)	213(△14)	2,638(△54)
	施設送迎	5(△4)	3(△2)	1(△5)	2(△3)	1(△1)	8(4)	54(△22)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (△1)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1(△6)
	その他	36(1)	30(△8)	43(7)	32(7)	36(15)	30(△7)	411(64)
	合 計(件)	278(△5)	273(37)	259(△1)	213(△51)	251(△16)	251(△17)	3,104(△19)
稼働日数(日)		133(△4)	136(14)	129(2)	116(△4)	124(△9)	129(△12)	1,554(△15)
走行距離(km)		4,131 (△526)	4,045 (84)	3,985 (△200)	3,251 (△934)	3,666 (△217)	4,017 (△356)	48,217 (△1,266)

②各種会議の開催

〔1〕各地区運営委員長会議の開催（開催回数：3回）

7月7日（木） 13人

- ア．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- イ．運転協力者現任研修会の開催検討
- ウ．実務に関する確認
 - ・27年度事業報告・収支報告
 - ・自家用有償旅客運送の登録更新
- エ．各地区の活動状況報告

11月18日（金） 12人

- ア．28年度中間事業報告・収支報告
- イ．運転協力者現任研修会の報告
- ウ．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- エ．実務に関する確認
 - ・年末年始の予約調整及び活動予定
- オ．各地区の活動状況報告

2月16日（木） 12人

- ア．28年度利用料の収支精算書の提出
- イ．各地区の活動状況報告
- ウ．運転ボランティアの担い手不足について

〔2〕各地区運営委員会の開催（開催回数：20回）

東地区・・・1回、東北地区・・・3回、西北地区・・・1回
 西南地区・・・12回、西地区・・・3回、南地区・・・なし

③利用登録者並びに登録ボランティア

		西北	南	東北	西	東	西南	計（人）
利用登録者数		183 (36)	218 (60)	245 (62)	243 (55)	142 (32)	223 (53)	1,254 (298)
V数	運転・介助	17(△3)	14(3)	16(△7)	27(△8)	15(4)	24(△5)	113(△16)
	事務	10(4)	4(-)	15(1)	9(△1)	13(-)	14(△1)	65(3)

（ボランティア数重複あり）

10. 車イス貸出し事業

在宅で車イスが一時的に必要な人を対象に車イスの貸出しを行いました。

保有台数 69 台（自走式 46 台、介助式 22 台、リクライニング式 1 台）

(1) 月別貸出し状況

月	4	5	6	7	8	9	
件数	35(13)	20(△2)	29(14)	18(△3)	23(9)	27(△4)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件数	31(4)	32(12)	27(1)	21(1)	18(△1)	37(6)	318(50)

(2) 年齢別利用状況

年齢	49 歳以下	50～64 歳	65～74 歳	75 歳以上	計
件数	38(△8)	52(6)	51(17)	177(35)	318(50)

(3) 貸出し期間別利用状況

貸出期間	1 週間未満	1 か月未満	1～2 か月	3～4 か月	5～6 か月	計
件数	124 (51)	87 (10)	23 (△2)	30 (3)	54 (△12)	318(50)

(4) 利用目的別利用状況

利用目的	通院	散歩	日常	行事	その他	計
件数	106 (27)	19(5)	100 (17)	67(△22)	26(23)	318(50)

(3) 国土交通大臣認定運転協力者講習会の開催（開催回数：3回）

運転ボランティアの安定的な確保をはかることを目的に、国土交通省が定める認定講習会を開催しました。

開催日	有料 受講者	西北	南	東北	西	東	西南	移送	その他	計(人)
第1回 6月14日・20日	-	-	3	-	1	2	-	-	-	6
第2回 10月11日・14日	1	-	1	-	-	1	-	-	-	3
第3回 1月27日・31日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 運転協力者現任研修会の開催（開催回数：1回）

実施日 8月18日（木）

会場 保健福祉センター 多目的室

受講者 35人(外援/移送)

内容 交通安全の講話、DVD鑑賞

講師 寝屋川警察署 職員

1 1. 元気アップ介護予防ポイント事業 <市からの受託事業>

介護予防サポーターの養成のための登録研修を開催するとともに、サポーター・受入施設の双方から相談をうけサポート活動の需給調整を図っています。

(1) サポーター登録者数等

- ① 登録者数 (累計) 512 人 (66) *うち 28 年度新規登録者数 77 人
 - ② 実活動者数 323 人 (40)
 - ③ 活動内容別参加者数 (重複有り)
 - [1] 縫製、洗濯物の整理など日常生活を補助する活動…………… 63 人
 - [2] 囲碁、将棋、書道など趣味を活かした交流活動…………… 57 人
 - [3] 傾聴、話し相手などの活動…………… 68 人
 - [4] 紙芝居、朗読などの活動…………… 67 人
 - [5] ゲーム、歌、歌体操などのレクリエーション活動…………… 79 人
 - [6] お茶出し、食堂での配膳などの補助活動…………… 56 人
 - [7] 園芸、草刈りなどの補助活動…………… 49 人
 - [8] 施設行事の手伝いなどの活動…………… 6 人
 - [9] その他施設における軽微かつ補助的な活動…………… 6 人
- 計 451 人

(2) サポーター受入登録施設数

- ① 高齢者施設 97 施設 (4) <新規登録数 : 6>
 - ② 障害者施設 11 施設 (-) <新規登録数 : ->
 - ③ 児童施設 19 施設 (△1) <新規登録数 : ->
- 計 127 施設 (3) <新規登録数 : 6>

(3) サポーター登録研修の開催 (開催回数 : 5 回)

開催日 5 月 16 日、7 月 11 日、9 月 12 日、11 月 14 日、1 月 16 日

会 場 保健福祉センター 研修室 5

参加者 77 人 (△17 人)

内 容 介護予防サポーターとは

講師 京都光華女子大学 准教授 石井 祐里子 氏

(4) 登録サポーター実力向上研修の開催 (開催回数 : 1 回)

登録者を対象としてサポーター活動のスキルアップをはかることを目的に開催しました。

開催日 10 月 17 日 (月)

会 場 保健福祉センター 5 階 会議室 1. 2

参加者 登録サポーター 38 人

内 容 基礎的な話し方のテクニックと相手の話を聴く姿勢 (傾聴) を学ぶ

講 師 アクトコミュニケーション代表

コミュニケーション・スピーチコンサルタント 加藤 あや 氏

(5) 情報交換会・活動相談会の開催（開催回数：1回）

開催日 11月22日（火）

会場 総合センター4階 第2研修室

参加 登録サポーター 25人

受入施設 17施設 19名

内容 情報交換会

・オリエンテーション

・サポーターと施設の個別相談会

個別活動相談会

・参加サポーターが各施設のブースを廻り、個別相談を行った。

(6) 登録サポーター交流会の開催（開催回数：1回）

登録サポーター同士の交流と親睦を深めることを目的に開催しました。

開催日 2月17日（金）

会場 保健福祉センター 5階 多目的室

参加者 登録サポーター 28人

(7) 需給調整

相談	調整	成立	不成立
81(△1)	81(△1)	70(4)	11(△5)

(8) 介護予防ポイント転換交付金の交付

交付人数	304人	(37人)
延べ活動日数	11,758日	(1,435日)
ポイント転換金額	2,041,000円	(161,600円)

12. 救急医療情報キット普及事業 <市からの受託事業>

平成23年度からひとり暮らし高齢者を対して、「救急医療情報キット事業 命のカプセルあんしん」を配付し、定期的に情報更新を行っています。

【キット配付数】 平成29年3月31日

新規配付数	239
既配付数	7,747
計	7,986

13. 福祉総合相談事業

市民からのさまざまな相談や地域の支援に応じ、福祉サービスや関係機関との連携、各種社会資源へのつなぎ等を行い、問題の解決・改善を図りました。

地域福祉支援概要

(個人を支える社協の取り組み)

個別支援	移送サービス事業実施件数	2,997	件
	外出援助サービス事業実施件数	3,104	件
	元気アップ介護予防ポイント事業	451	件
	各地区まちかど福祉相談活動件数	665	件
	車イス貸出件数	318	件
	個別ケース総合相談	124	件※内訳別掲
	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業契約件数	96	件
	生活困窮者自立支援事業	1,812	件
	生活福祉資金貸付事業	799	件
	日常生活自立支援事業	60	件
	個別支援件数	10,426	件

(地域を支える取り組み)

地域支援	各校区福祉委員会など	379	件
	校区福祉委員長協議会	143	件
	各校区ボランティア部会	37	件
	校区ボランティア部会長会	144	件
	福祉教育実施	70	件
	地域支援件数	773	件

(参考)CSW の地域支援頻度	1 月あたり	60.8	回
	1 月の CSW ひとりあたり	10.1	回

個別支援、地域支援合計	11,199	件
-------------	--------	---

事務支援	ボランティア保険事務	総合保険	290	件
		行事保険	639	件
		加入者数	3,432	人

※個別ケース総合相談 124 件の内訳概要

どこから	来所	49	電話、電子メールなど	59	出向いて	16
------	----	----	------------	----	------	----

相談者は	本人	38	家族	17	福祉委員会	23
	関係機関	37	知人など	9		

この内容は (複数回答あり)	見守り活動	42	ボランティア活動	23	個別ケース調整	49	社協の他の取り組み	15
	介護・健康など	36	障害・健康など	35	乳幼児・健康など	4	生活費など	47
	近隣のこと	9	法律に関すること	8	生き方について	13	その他	-

対応	終了	98	支援継続中	26
----	----	----	-------	----

対応の内容は (複数回答あり)	福祉関係機関や福祉委員会と協議し、制度の活用や取り組みを検討したまたは、図った		64
	情報提供を行い、対応手順を示した。又は、共に対処した		59
	傾聴を行った		14

14. 赤い羽根共同募金事業

赤い羽根共同募金活動を関係機関の協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図ります。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月1日に民生委員・児童委員を中心に街頭募金を実施したことをはじめ、自治会の協力のもと戸別募金、事業所募金の実施、市内の公立小中学校で学校募金の実施、社会福祉施設等で募金箱の設置など、全市的に募金活動を展開しました。

①募金実績額

(単位：円)

募金区分	28年度実績額	27年度実績額	前年度比
戸別募金	13,340,043	13,630,899	△290,856
事業所募金	749,033	776,128	△27,095
学校募金	97,986	77,544	20,442
職域募金	94,816	67,822	26,994
街頭募金	101,960	128,959	△26,999
バッジ募金	404,000	360,000	44,000
その他	97,068	94,011	3,057
計	14,884,906	15,135,363	△250,457

②校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	863,497	15,950	879,447
石津	139,951	-	139,951
宇谷(明德)	358,538	3,500	362,038
梅が丘	210,350	10,000	220,350
神田	549,312	30,000	579,312
北	703,504	22,600	726,104
木田	452,455	143,200	595,655
楠根	252,730	12,450	265,180
国松緑丘	321,392	1,150	322,542
啓明	534,309	12,100	546,409
木屋	585,341	25,000	610,341
桜	272,275	63,600	335,875
点野	576,736	75,233	651,969
成美	916,413	195,200	1,111,613

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
田井	389,974	23,600	413,574
第五	2,178,499	23,700	2,202,199
中央	633,467	47,250	680,717
西	413,772	17,100	430,872
東	806,655	-	806,655
堀溝	673,136	3,700	676,836
三井	352,773	-	352,773
南	622,755	21,600	644,355
明和	142,000	-	142,000
和光	390,209	2,100	392,309
計	13,340,043	749,033	14,089,076

(2) 共同募金配分結果

平成 28 年度に行われた共同募金等は、大阪府共同募金会にて審査され、以下の施設等に配分されます。

[1] 赤い羽根共同募金による配分 (4 件 13,680,638 円)

① 社会福祉協議会 11,136,638 円

(機関紙「虹」発行費用、校区福祉委員会がとりくむ地域福祉活動への補助、移送サービス事業の運営費等、地域福祉推進のための事業に活用)

② ひなぎく保育園 691,000 円 (結露防止対策内部下化工事)

③ ひまわり保育園 853,000 円 (ピアノ整備)

④ 桜木保育園 1,000,000 円 (巧技台、電動日除け整備)

[2] NHK歳末たすけあいによる配分 (1 件 5,000 円)

① 月の輪学院 5,000 円 (入学進学支度金)

15. 歳末たすけあい運動事業

歳末たすけあい運動募金活動を関係機関の協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図りました。

(1) 募金実績額

(単位：円)

募金区分	28 年度実績額	27 年度実績額	前年度比
戸別募金	12,194,996	12,211,171	△16,175
事業所募金	988,400	1,061,712	△73,312
街頭募金	165,515	162,967	2,548
その他	106,877	89,997	16,880
計	13,455,788	13,525,847	△70,059

(2) 校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

校区	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	817,702	—	817,702
石津	148,804	—	148,804
宇谷（明德）	342,109	4,500	346,609
梅が丘	201,847	10,000	211,847
神田	479,776	22,200	501,976
北	748,125	42,000	790,125
木田	445,782	149,000	594,782
楠根	201,377	8,000	209,377
国松緑丘	410,688	—	410,688
啓明	497,520	81,000	578,520
木屋	511,594	57,100	568,694
桜	300,934	60,500	361,434
点野	556,258	35,100	591,358
成美	751,777	131,000	882,777
田井	377,549	22,000	399,549
第五	1,924,766	59,100	1,983,866
中央	602,927	29,000	631,927
西	369,923	161,500	531,423
東	702,310	—	702,310
堀溝	481,820	63,900	545,720
三井	238,463	—	238,463
南	582,049	48,500	630,549
明和	134,000	—	134,000
和光	366,896	4,000	370,896
計	12,194,996	988,400	13,183,396

(3) 配分実績

① 地域福祉活動に対する配分	11,699,388 円
② 生活緊急支援金給付事業への配分	230,000 円
③ 災害ボランティアセンター備品整備への配分	274,739 円
計	12,204,127 円

*〔地域福祉活動に対する配分〕の詳細は次のとおり

【校区福祉委員会】

(単位：円)

校区	地域福祉活動に対する配分	ひとり暮らし高齢者の福祉を増進する事業への配分	計
池田	392,728	143,400	536,128
石津	247,288	30,600	277,888
宇谷(明德)	377,728	89,100	466,828
梅が丘	237,712	72,300	310,012
神田	322,264	78,600	400,864
北	469,120	124,500	593,620
木田	329,560	130,200	459,760
楠根	219,856	37,200	257,056
国松緑丘	312,472	70,500	382,972
啓明	330,856	102,900	433,756
木屋	353,848	76,500	430,348
桜	330,136	96,600	426,736
点野	351,496	100,500	451,996
成美	326,872	137,700	464,572
田井	339,592	94,800	434,392
第五	591,496	162,600	754,096
中央	398,536	123,300	521,836
西	290,368	84,600	374,968
東	384,112	72,600	456,712
堀溝	259,192	54,000	313,192
三井	245,608	160,800	406,408
南	343,024	135,600	478,624
明和	270,448	63,300	333,748
和光	381,976	111,000	492,976
計	8,106,288	2,353,200	10,459,488

【当事者や家族の福祉団体】(小計 364, 800)

寝屋川市身体障害者福祉会	56, 800
寝屋川市障害児者を守る親の会	33, 600
寝屋川市肢体不自由児(者)父母の会	25, 600
寝屋川市障朋会	31, 040
寝屋川市精神障害者家族会	24, 000
寝屋川市母子寡婦福祉会	79, 040
寝屋川市原爆被害者の会	42, 560
全国膠原病友の会大阪支部寝屋川会	25, 120
神経筋難病患者家族の会「ひまわり会」	22, 720
寝屋川市難病連絡会	24, 320

【ボランティアセンター登録団体】(小計 555, 100)

S A 北河内百楽の会	9, 750
S A 寝屋川連絡会	13, 000
アスパラの会	12, 350
うきうきわくわく音心の会	9, 100
歌体操寝屋川グループ	9, 100
園芸福祉ボランティアらぶ	14, 300
大阪睦会	9, 750
北河内傾聴ボランティア「14の耳」	24, 050
家庭介護援助ボランティアほうれんそう	10, 400
擬似体験ボランティアうらしまさん	9, 750
北校区子育てサロンパッチワーク	9, 100
京阪ナツメロ愛好会	17, 550
手話サークルひびき	7, 150
すみれの会	7, 150
地域ボランティアなの花会	12, 350
点訳ボランティアつくしの会	11, 050
車椅子レクダンス普及会「矢車草の会」	12, 350
げんき会	33, 800
懐かしい映画・アニメ映画の会	36, 400
日曜大工ボランティアとんかちクラブ	9, 750
寝屋川市身体障害者福祉会視覚部会	9, 100
寝屋川市民たすけあいの会	45, 500
ホームページ作成ボランティアくりつくねっと☆	9, 100
ボランティア・みい	22, 750
わくわく音楽隊	11, 700
要約筆記サークル「バンビ」	12, 350

リップルアンサンブルオーケストラ	15,600
朗読ボランティアにじの会	21,450
わくわく未来塾	16,250
栄光会	4,550
天満天神の会	29,250
ブリッジこだま	8,450
おっとこまへの会	6,500
MOA健康生活ねやがわネットワーク	20,800
さつき会	13,000
美鈴会	13,000
ボランティアふるな	7,150
なでしこ会	5,200
なんぼーず	5,200
【寝屋川市介護者の会】	320,000

16. 広報事業

市民に福祉サービスや福祉の情報を伝えることで、地域福祉に関心を持ち、理解が得られるよう工夫しさまざまな方法で情報発信を行いました。本年よりタブロイド判から A4 版 8 ページに変更し、配送業者で全戸配布を行いました。

(1) 機関紙の発行

① 機関紙「虹」の発行（発行：4 回）

号/発行日 (部数)	主な内容
135 号 5 月 1 日 (115, 000)	・ 平成 28 年度 事業計画と重点項目 ・ かぎ預かり事業 施設の声～東北エリア～ ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～中央校区・東校区～ ・ 社会福祉協議会組織構成会員との紹介 ・ パピーウォーカーを大募集！／ご寄付いただいた方 ・ お知らせ（募集、催し、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（郡 美博さん／池田校区福祉委員会）
136 号 8 月 1 日 (115, 000)	・ 平成 27 年度 事業報告と決算 ・ 和光校区で始まる新たな取り組み始まる！ ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～池田校区・桜校区～ ・ 介護の悩みひとりで抱えこまないで。居場所づくりの取り組み ・ 平成 28 年度熊本地震に関するお知らせ／ご寄付いただいた方 ・ お知らせコーナー（募集、催し、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（佐藤 忍さん／北校区福祉委員会）
137 号 11 月 1 日 (115, 000)	・ 歳末たすけあい運動が始まります ・ 生活困窮者自立支援事業 紹介 ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～北校区・田井校区～ ・ 運転ボランティア活動紹介 ・ 地域貢献委員会の取り組み ・ お知らせコーナー（募集、催し、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（幸寺 力さん／神田校区福祉委員会）
138 号 2 月 1 日 (115, 000)	・ 社会福祉協議会会員募集にご協力ください ・ 【特集】マンション発！多様なサロン・集いの場 ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～梅が丘校区・明和校区～ ・ ヒートショックに気をつけて/生活困窮者自立支援事業利用者の声 ・ 歳末たすけあい運動募金報告/ご寄附いただいた方 ・ お知らせコーナー（募集、案内）/社会福祉ボランティア表彰受賞 ・ インタビュー 地域のヒト！（東 泰男さん／楠根校区福祉委員会）

② 広報編集委員会の開催（開催回数：9回）

本会機関紙「虹」発行のために広報編集委員会を開催しました。（主な案件：紙面内容の検討）

開催日及び参加人数 4月7日（木）7人、5月25日（水）7人、7月5日（火）10人、
8月24日（水）9人、9月30日（金）9人、11月16日（水）7人、
12月21日（水）4人、2月17日（金）5人、3月24日（金）5人

(2) 福祉広報研修会の実施

開催日 12月5日（月）、12月12日（月）

会 場 保健福祉センター 研修室5

参加数 22人（1日目）、18人（2日目）

内 容 「ワクワク広報紙づくり」～楽しい!グループ運営の仕方と上手い!広報の作り方～

講 師 増田 ゆきみ氏（株式会社ペンコム 代表取締役）

木下 康子 氏（明石市江井島コミュニティ推進協議会事務局次長）

(3) ホームページの運営

毎月第3月曜日、ボランティアグループくりっくねっと☆の定例会時に更新、その他必要に応じて随時更新しました。また、本年にホームページをリニューアルしました。

寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ

<http://www.neyagawa-shakyo.or.jp/>

17. 調査・研究事業

(1) ひとり暮らし高齢者調査の実施

本会・校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会が共催で、65 歳以上のひとり暮らし高齢者数の調査を行いました。

[平成 28 年 4 月 1 日現在]

校区	65～74 歳		75 歳以上		計		ひとり暮らし 高齢者総数	ひとり暮らし高齢者数の内訳		
	男	女	男	女	男	女		入院者	未記入者	記入者数
池田	61	121	71	225	132	346	478(△16)	15	37	426
石津	11	27	17	47	28	72	102(5)	3	3	96
宇谷(明德)	22	101	45	129	67	230	297(36)	4	50	243
梅が丘	19	89	33	100	52	189	241(△18)	2	3	236
神田	25	52	35	150	60	202	262(5)	3	17	242
北	50	97	47	221	97	318	415(△5)	16	19	380
木田	42	109	74	209	116	318	434(△28)	4	27	403
楠根	19	26	21	58	40	84	124(-)	1	7	116
国松緑丘	13	49	25	98	38	147	185(△1)	3	4	178
啓明	44	88	46	165	90	253	343(△4)	3	19	321
木屋	26	72	33	124	59	194	255(15)	3	16	236
桜	48	73	49	152	97	225	322(2)	4	9	309
点野	50	105	44	136	94	241	335(△8)	9	11	315
成美	42	106	66	245	108	351	459(1)	4	17	438
田井	53	85	43	135	96	220	316(2)	3	-	313
第五	46	118	66	298	112	416	528(△21)	7	52	469
中央	44	82	59	226	103	308	411(△28)	23	14	374
西	29	60	38	155	67	215	282(△6)	3	9	270
東	21	33	38	150	59	183	242(△7)	10	6	226
堀溝	28	53	29	70	57	123	180(25)	7	26	147
三井	76	165	89	270	165	435	600(△22)	11	31	558
南	63	120	73	196	136	316	452(6)	5	16	431
明和	16	44	24	127	40	171	211(△13)	34	-	177
和光	55	104	63	148	118	252	370(-)	4	15	351
計(人)	903	1,979	1,128	3,834	2,031	5,813	7,844 (△80)	181 (△43)	408 (△149)	7,255 (112)

(2) 緊急時安否確認に関する状況把握の実施

地域における孤立死の状況や異変の発見時や緊急対応時の問題点を明らかにするために状況調査を行いました。

① 校区別孤立死等の発見状況

校区	生前に発見	死後に発見
池田	-(△1)	-(△1)
石津	-(-)	-(-)
宇谷(明德)	-(-)	1(△1)
梅が丘	1(1)	1(1)
神田	-(-)	-(-)
北	-(△2)	3(1)
木田	1(1)	2(-)
楠根	1(1)	1(1)
国松緑丘	1(1)	1(-)
啓明	-(△1)	-(△4)
木屋	-(-)	1(-)
桜	6(6)	3(3)
点野	2(1)	3(2)
成美	1(1)	4(-)
田井	-(-)	1(1)
第五	2(2)	1(-)
中央	2(2)	2(2)
西	1(1)	2(2)
東	-(-)	1(1)
堀溝	-(△1)	4(2)
三井	4(1)	2(-)
南	-(-)	3(-)
明和	-(-)	-(-)
和光	-(-)	-(△2)
計(人)	22(13)	36(8)

② 対象者の年齢

年齢	生前に発見	死後に発見	計
50 歳未満	-(-)	1(1)	1(-)
50 歳以上～65 歳未満	-(-)	2(△1)	2(△1)
65 歳以上～75 歳未満	6(6)	7(△4)	13(2)
75 歳以上	16(7)	26(13)	42(20)
不詳	-(-)	-(△1)	-(△1)
計	22(13)	36(8)	58(21)

③ 発見者

発見者	生前に発見	死後に発見	計
家族・親族	3(-)	12(4)	15(4)
近隣住民	6(6)	11(2)	17(8)
友人・知人	1(-)	-(△3)	1(△3)
福祉委員（民生委員含む）	1(1)	4(1)	5(2)
自治会役員	1(1)	-(△1)	1(-)
新聞・宅配業者	2(2)	3(2)	5(4)
福祉サービス関係者	7(4)	6(3)	13(7)
不 詳・その他	1(△1)	-(-)	1(△1)
計	22(13)	36(8)	58(21)

④ 発見までの日数（死後発見のみ）

発見までの日数	件数
死亡当日～死後 1 日	13(3)
死後 2 日～3 日	9(3)
死後 4 日～7 日	4(△1)
死後 8 日以上	7(2)
不詳	3(1)
計	36(8)

⑤ かぎ預かり利用契約の有無

かぎ預かり事業契約有無	生存	死亡	計
有り	13(5)	3(1)	16(6)
無し	9(8)	33(7)	42(15)
計	22(13)	36(8)	58(21)

18. 地域包括支援センター事業＜市からの受託事業＞

介護保険法に基づき、中学校区単位に設置され、第三中学校区、第八中学校区の地域包括支援センターの運営を行っています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、市や介護、福祉、医療など地域の関係機関や団体等との連携協力の下、健康、生活、財産、権利などを守りながら生活を支えるためのしくみづくりを行っています。

(1) 総合相談・支援

高齢者に関する相談に対応するとともに、必要な支援を行い問題の解決・改善に努めました。

(相談経路)

	電話	来所	その他	計
三中包括	406(50)	242(13)	75(8)	723(71)
八中包括	368(30)	202(81)	61(39)	631(150)

(相談者の内訳)

【三中包括】

内 訳	件 数	内 訳	件 数	内 訳	件 数
本人	154(16)	ケアマネジャー	73(△22)	市役所	36(6)
家族	303(42)	サービス事業所	8(3)	その他(不明含)	6(1)
知人・近隣	27(10)	医療機関	49(11)		
福祉委員等	38(3)	警察	5(3)		
他包括	17(5)	関係機関	7(△7)	計	723(71)

【八中包括】

内 訳	件 数	内 訳	件 数	内 訳	件 数
本人	224(101)	ケアマネジャー	92(14)	市役所	28(3)
家族	144(△2)	サービス事業所	7(△4)	その他(不明含)	11(4)
知人・近隣	19(2)	医療機関	18(△8)		
福祉委員等	55(24)	警察	2(1)		
他包括	8(3)	関係機関	23(12)	計	631(150)

(相談件数及び内容)

内容	新 規 要 支 援 者	介 護 保 険 申 請	高 齢 者 二 次 予 防	介 護 サ ー ビ ス に つ い て	ケ ア マ ネ の 調 整	認 知 症 に つ い て	精 神 疾 患 に つ い て	医 療 に つ い て	虐 待 関 係	権 利 擁 護	生 活 上 の 相 談 (そ の 他 含)	計
三 中 包 括	47 (13)	137 (11)	5 (3)	101 (△1)	61 (△5)	41 (22)	25 (14)	7 (-)	14 (3)	7 (△8)	278 (19)	723 (71)
八 中 包 括	6 (△33)	80 (-)	- (-)	134 (39)	22 (△7)	12 (4)	2 (△1)	30 (17)	29 (12)	13 (4)	303 (115)	631 (150)

(2) 介護予防ケアマネジメントの実施

要介護認定を受けていない方を対象とした生活機能評価等を通じて判定した二次予防高齢者に対して、地域包括支援センターとの連絡を希望した方に対して支援を行ってきたが、平成 27 年度末を持って終了。代わって 29 年度に実施する介護保険制度改正に向けた介護予防の取り組みを実施した。また、併せて各種団体等の会合等で市民向けの介護予防講座を実施しました。

① 二次予防高齢者への対応件数

	計
三中包括	-(△74)
八中包括	-(△77)

※平成 27 年度まで高齢介護室が対象者の抽出を行い地域包括支援センターから訪問等を実施していたが、平成 28 年度は、高齢介護室として制度改正準備の為、抽出せず取り組みとして終了

② 新制度移行準備の為の介護予防対象者への対応件数

	計
三中包括	5
八中包括	5

※介護保険制度改正を受けて、29 年度から始まる「介護予防・日常生活支援総合事業」に向けて、要介護認定を受けていない高齢者の介護予防支援についてモデル的に支援を行った。

③ 介護予防講座等の開催

〔1〕第三中学校区地域包括支援センター（開催回数：介護予防教室 3 回、体操教室 12 回）

第 1 回 9 月 30 日（金） 西北コミュニティセンター 26 人

内容 認知症予防（アロマ石鹸作り）

第 2 回 11 月 29 日（火） 西北コミュニティセンター 24 人

内容 口腔機能向上（歯科衛生士の講義）

第 3 回 1 月 26 日（木） 西北コミュニティセンター 27 人

内容 栄養改善（食生活の改善）

体操教室 4 月 11 日（月）、5 月 9 日（月）、6 月 13 日（月）、7 月 11 日（月）、8 月 8 日（月）、9 月 12 日（月）、10 月 10 日（月）、11 月 14 日（月）、12 月 12 日（月）、1 月 9 日（月）、2 月 13 日（月）、3 月 13 日（月）

計 12 回 会場 西北コミュニティセンター
 内容 元気アップサポーターによる体操教室
 延べ参加者 250 人

[2] 第八中学校区地域包括支援センター（開催回数：介護予防教室 3 回、体操教室 6 回）

第 1 回 7 月 21 日（木）西コミュニティセンター 17 人

内容 運動機能向上（元気アップ教室）

第 2 回 8 月 18 日（木）西コミュニティセンター 23 人

内容 運動機能向上（太極拳）

第 3 回 9 月 15 日（木）西コミュニティセンター 13 人

内容 口腔機能向上（8020 運動）

体操教室 8 月 5 日（金）、8 月 19 日（金）、9 月 2 日（金）、9 月 16 日（金）
 10 月 7 日（金）、10 月 21 日（金） 計 6 回

会場 第八中学校区地域包括支援センター 会議室

内容 元気アップサポーターによる体操教室

延べ参加者 85 人

(3) 権利擁護、高齢者虐待の防止・早期発見のための取り組み

継続的に高齢者虐待、権利擁護に対して関係機関と連携し様々な制度、サービスの調整等を行いました。（新規対応分）

	計
三中包括	17 (5)
八中包括	3 (△8)

(4) 包括的・継続的ケアマネジメントの支援

ケアマネジャーや介護保険事業所への支援を実施した件数（新規対応分）

① 困難ケースにおける助言・支援件数

	計
三中包括	23 (△5)
八中包括	20 (△4)

② 地域との連携に向けた会議・研修会・広報啓発活動

【三中包括】

月	実施回数	主な参加・実施団体
4	2	＜西北圏域＞・地域包括、CSW 連携会議（今年度の計画等） ＜北校区＞・土曜サロン：健康相談
5	5	＜西北圏域＞・地域包括、CSW 連携会議（ネットワーク会議の検討） ・西北圏域ネットワーク会議（デイサービス事業所紹介） ＜北校区＞・マンションでの包括事業説明 ・あいあいサロン：健康体操

月	実施回数	主な参加・実施団体
		<田井校区>・田井校区いきいきサロン：健康相談
6	6	<西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議（ネットワーク会議について） ・西北コミセンまつり（2日間）：相談コーナー ・西北・南圏域合同ネットワーク会議（CSWの取り組み） <北校区>・あいあいサロン：健康相談 ・民生委員協議会でのケアマネジャーとの連絡票の説明 <田井校区>・民生委員協議会でのケアマネジャーとの連絡票の説明
7	3	<西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議（今後の取り組み） ・住民講座：消費者被害防止 ・一人ケアマネとの交流会
8	5	<市域>・寝屋川市地域包括支援センター代表者会議 ・寝屋川市地域包括支援センター運営協議会 ・寝屋川市地域ケア会議 <西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議（ネットワーク会議について） ・西北圏域ネットワーク会議（医療連携）
9	5	<市域>・認知症高齢者介護講習会 <西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議 <三中圏域>・ネットワーク会議（終活：遺言、エンディングノート） <北校区>・あいあいサロン：健康相談 <田井校区>・敬老サロン：包括相談コーナー
10	7	<市域>・病院協会との懇談会 <西北圏域>・西北圏域ネットワーク会議（要援護者支援の連携） ・気軽に元気アップ講座 4回（市主催） ・地域包括、CSW 連携会議（ネットワーク会議打ち合わせ）
11	6	<市域>・介護予防フェスタ <西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議 ・気軽に元気アップ講座 3回（市主催） <北校区>・北校区福祉まつり
12	7	<西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議 ・気軽に元気アップ講座 4回（市主催） ・西北圏域ネットワーク会議（事例検討） <三中圏域>・ビーナスプラス運営推進会議
1	5	<市域>・ケアマネ事業所連絡会研修 <西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議調整） ・一人ケアマネ相談会 ・気軽に元気アップ講座評価会議（市主催） <北校区>・あいあいサロン：健康相談
2	7	<市域>・プロジェクト会議（認知症初期集中支援チームの取り組み）

月	実施回数	主な参加・実施団体
		・主任ケアマネ・ケアマネ事業所連絡会合同イベント ・地域ケア会議運営マニュアルプロジェクト会議 <西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議について） ・地域ケア会議 <三中圏域>・住民講座（終活：遺言、エンディングノート） ・青樹会デイ・リハビリデイ運営推進会議
3	9	<市域> ・地域ケア会議運営マニュアルプロジェクト会議 ・民協関係機関研究部会 ・高齢者虐待ネットワーク会議 ・寝屋川市地域支え合い体制づくり協議体 ・見守りネットワーク意見交換会 <西北圏域>・地域包括、CSW 連携会議 ・西北・南圏域合同ネットワーク会議（総合事業） <三中圏域>・めぐみデイ・介護ステーション田井運営推進会議 <北校区>・あいあいサロン：健康相談
計	67 (16)	

【八中包括】

月	実施回数	主な参加・実施団体
4	2	<西圏域>・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ケアマネネットワーク会議について） 2回
5	3	<西圏域>・地域包括、CSW 連携会議（ケアマネネットワーク会議について） ・西圏域おとしより110番プロジェクト（包括・CSW 連携会議検討会、地域ケア会議について） <点野校区>・点野住宅老人会（包括のPR、認知症予防・健康体操）
6	5	<西圏域>・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議・ケアマネネットワーク会議について） ・西圏域おとしより110番プロジェクト（プロジェクトの検討）2回 <点野校区>・仁和寺地区サロン（包括PR） <西校区>・府営春日住宅地区サロン（包括PR） ・春日町地区サロン（包括PR、健康相談）
7	5	<西圏域>・包括、CSW 連携会議（今年度の圏域地域ケア会議・ケアマネネットワーク会議について検討） <八中圏域>・ケアマネネットワーク会議（オレンジチーム勉強会、交流会） ・西・点野校区健康&まちかど相談会 <点野校区>・仁和寺地区福祉委員会（出張まちかど相談）

月	実施回数	主な参加・実施団体
		<西校区> ・東高柳地区サロン（包括 PR、オレンジチームについて、元気アップ体操）
8	7	<市域> ・寝屋川市地域包括支援センター代表者会議 ・寝屋川市地域包括支援センター運営協議会 ・寝屋川市地域ケア会議 <西圏域> ・平成 28 年度第 1 回西圏域地域ケア会議 ・地域包括、CSW 連携会議（西圏域地域ケア会議、ネットワーク会議について） <八中圏域> ・西・点野校区健康&まちかど相談 <点野校区> ・松下住宅隣組懇談会（松下電器 OB 会で包括の PR）
9	6	<市域> ・認知症高齢者介護講習会 ・高齢者虐待専門部会 <西圏域> ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について）2 回 <八中圏域> ・西・点野健康&まちかど相談会 <点野校区> ・仁和寺団地ふれあいリビング（包括 P R ・健康相談）
10	5	<市域> ・病院協会との懇談会 <西圏域> ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について） ・地域ケア会議企画実行委員会 ・ケアマネネットワーク会議（薬局の役割について） ・西コミセンまつり（包括 P R）
11	9	<市域> ・介護予防フェスタ <西圏域> ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について） ・地域ケア会議企画実行委員会 ・気軽に元気アップ講座 2 回（市主催） <西校区> ・東高柳地区サロン（健康ミニ講座、相談会、包括 PR） ・宝町地区サロン（健康相談、包括 PR） ・春日町地区サロン（相談会） <点野校区> ・仁和寺団地ふれあいリビング（包括 PR、健康相談）
12	3	<西圏域> ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について） ・地域ケア会議企画実行委員会 ・気軽に元気アップ講座（市主催）
1	4	<市域> ・ケアマネ事業所連絡会研修 <西圏域> ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について）

月	実施回数	主な参加・実施団体
		・気軽に元気アップ講座評価会議（市主催） ・地域ケア会議企画実行委員会
2	11	<市域> ・プロジェクト会議（認知症初期集中支援チームの取組み） ・主任ケアマネ・ケアマネ事業所連絡会合同イベント ・地域ケア会議運営マニュアルプロジェクト会議 <西圏域> ・池の里まちかど福祉相談所運営委員会（八中出張まちかどについて） ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について） ・地域ケア会議企画実行委員会 ・平成 28 年度第 2 回西圏域地域ケア会議 <西校区> ・東高柳地区サロン（健康ミニ講座、包括 PR） ・葛原新町地区サロン（健康相談） <点野校区> ・仁和寺団地ふれあいリビング（包括 PR、健康相談） ・松下住宅地区サロン（認知症について、包括 PR）
3	7	<市域> ・地域ケア会議運営マニュアルプロジェクト会議 ・民協関係機関研究部会 ・高齢者虐待ネットワーク会議 ・寝屋川市地域支え合い体制づくり協議体 ・見守りネットワーク意見交換会 <西圏域> ・地域包括、CSW 連携会議（地域ケア会議、ネットワーク会議について） ・ケアマネネットワーク会議（医療と介護の連携について）
計	67(14)	

(5) 地域ケア会議

医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスなど専門多職種の協働のもと、公的サービスのみならず他の社会資源も積極的に活用することができる連携の場として日常生活圏域及び包括圏域内で開催しました。

【三中包括】

個別課題解決型地域ケア会議関係 <13 回（△1）>

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
1	後見人制度の理解と申し立てに対する意思確認	ケアマネジャー・民生委員・本人・司法書士	後見申し立てに対して本人の不安が軽減し、申し立て手続きに結びつく。
2	近隣トラブルになる前に地域との連携を深める	ケアマネジャー・民生委員・介護保険サービス事業所	本人の現況を共有することで、今までと違う視点での見守りが可能となり、住み慣れた地域で暮らしていける支援が継続

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
			できた。
3	今後の支援の方向性と役割分担	ケアマネジャー・福祉委員・介護保険サービス事業所・本人・近隣住民	今後の支援の方向性の確認及び関係者の役割分担。後見制度の申し立てと鍵預かり事業の申し込みにつながった。
4	認知症のひとり暮らし高齢者が必要な制度につなげられていない	作業療法士・精神保健福祉士・民生委員	オレンジチームが関わったが、必要な制度につなげるには、時間を要するケースであるため、引き続き後見制度の利用を働きかけながら支援者を増やしていく。
5	夫の介護疲れを頻繁に訴える妻にも認知症状が見られる	ケアマネジャー・民生委員・家族	本人、家族に対して必要な支援につなげることができ、ケアマネジャーと民生委員の連携が深まった。
6	退院にあたり、自宅の環境整備と生活支援についての検討	MSW・本人・賃貸マンションの大家	本人に関わりの深い大家夫婦、病院、包括の意見を本人も含めて共有することで、本人に支援の必要性を自覚してもらえた。
7	日常生活自立支援事業を利用することで、自身の生活が守られることの理解を得てもらう	ケアマネジャー・社会福祉協議会職員・本人	本人の意向を確認できたことと、本人の支援に対するケアマネジャーの不安の軽減が図れた。
8	本人認知症のため利用サービスを理解しておらず、生活状況把握のため	ケアマネジャー・福祉委員・本人	連携することで見守り体制が強化できる。
9	新たな虐待対応計画を共有。役割分担を明確化し今後起こりうるリスクを共有し対処方法を考える	ケアマネジャー・介護保険サービス事業所・	新たな課題に対し専門職がそれぞれの領域で同じ目標に向かって支援を行うことで問題の解決を目指す。
10	認知症の診断を受けることで成年後見等必要な支援につなげていく	寝屋川市オレンジチーム・ご家族	寝屋川市オレンジチーム活用により認知症の早期診断に結びつき、ケアの方向性を導き出すことができた。
11	家族及び支援者間で現況を共有し、今後の支援について一定の方向性を確認する	障害福祉課・ご家族	現状について情報共有し、今後の課題等について共通認識を持てたことで、家族・支援者が見通しをもって対応できるベースを作った。
12	支援関係者間で現状と今後の支援の方向性を共有し、長女をサポートすることで本人の独居生活を支える	消費生活センター・ケアマネジャー・介護保険事業所、ご家族	軽度な支援が必要な長女が今後もキーパーソンとして活躍できるよう、専門職がつながり家族を支援することを共有できた。

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
13	同居家族の娘・息子が発達障害、対象者が統合失調症、それぞれの支援方法を検討する	看護師・精神福祉士・ご家族・障害福祉サービス事業所	各支援者が顔を合わせることで情報共有し役割分担ができた。報告や相談が行いやすい関係性作りができた。

地域課題、地域づくり関係等

西北圏域地域ケア会議＜1回(-)＞

月日	参加機関等	主 な 内 容
2月10日 (金)	(圏域内) 三師会・老人ホーム・ケアマネジャー・デイサービス・訪看・民協・商店会・司法書士・病院MSW・介護者の会・老人クラブ・社協CSW 16人	＜テーマ＞ 「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」 ＜会議を受けての今後の取り組み内容等＞ ・地域包括支援センターのPRの強化 ・認知症高齢者支援のための連携強化 ・シルバー110の標示を施設や商店に掲げてもらい気軽に相談に応じてもらうと伴に地位包括支援センターに連絡してもらえる仕組みづくりの具体化

【八中包括】

個別課題解決型地域ケア会議関係 ＜5回(2)＞

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
1	施設入所を検討中だが本人の訴えが相手によって違うため、関係者の情報共有と意思統一を図る必要がある。	ケアマネジャー・民生委員・社協職員・障害福祉担当部署の職員	在宅・施設に関わらず経済的に困窮しているので生活保護を受給できるかが課題。保護受給の決定を受けて本人に意向を確認する。必要に応じて再度ケア会議を開催する。
2	地域から苦情の出ている行為に関して、地域・家族で解決策が見出せなかった。	生活保護担当部署の職員・ケアマネジャー・サービス事業所職員・民生委員・家族	家族の希望で有料老人ホームを探す。見つかるまではデイ利用を増やして、一人で過ごす時間、お酒を飲む機会を少しでも減らすようにする。
3	病院から施設入所を検討していたが家族と連絡が取れず、在宅に向けての支援調整が必要になった。(2のケースの2回目)	生活保護担当部署の職員・ケアマネジャー・病院MSW・病院リハ職	施設入所が最適だが親戚と連絡が取れないので当面は在宅生活を維持できるよう支援する。家族への連絡を続けるが緊急時は家族の同意がなくても入院・入所できるようにする。

4	要介護1の本人が認知症で閉じこもりがち。本人・妻が必要を感じていないため、家族が心配している。	ケアマネジャー・本人・家族	車の運転は止める。デイサービスの体験に一度行ってみることに本人が同意。
5	金銭を貸してしまったり、金銭面でだまされることがあるため、金銭管理について話し合う必要がある。	ケアマネジャー、本人、家族（息子）	認知症の疑いはないため、同居している息子が金銭管理を行っていくこととなる。

地域課題、地域づくり関係等

西圏域地域ケア会議＜2回（1）＞

月日	参加機関等	主 な 内 容
8月25日 (木)	(西圏域内) 薬剤師会・訪問看護ステーション・ケアマネジャー事業所連絡会・デイサービス絆の会・介護者の会・民生児童委員協議会・老人クラブ連合会・社会福祉協議会(CSW) 18人	＜テーマ＞ 平成27年度の西圏域地域ケア会議の結果を受けて、より具体的な活動を検討する。 ＜会議を受けての今後の取り組み内容等＞ ・ 地域ケア会議参加者の中から実行委員を選出。 ・ 包括職員とともに会議で出た意見を軸に具体的な計画を検討する。
2月23日 (木)	(西圏域内) 医師会、薬剤師会・訪問看護ステーション・ケアマネジャー事業所連絡会・デイサービス絆の会・介護者の会・民生児童委員協議会・社会福祉協議会(CSW) 11人	＜テーマ＞ 第1回目の地域ケア会議で出てきた意見を受け、実行委員会で検討してきた「SOSを発信(受信)しやすくなる仕組みづくりについて検討 ＜会議を受けての今後の取り組み内容等＞ ・ 高齢者110番のポスターづくりの検討

(6) 広報・啓発活動

包括支援センターの業務内容等を関係機関・団体、福祉委員会、来訪者に対して、ニュースレター等を発行して情報発信を行いました。

包括名	発行月	発行部数	主な内容
三中包括	7	200	・ 西北圏域ネットワーク会議開催報告 「西北圏域内居宅と通所介護事業所との情報交換会」 「病院における定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」 ・ ケアマネジャーと民生委員との連絡票お知らせ ・ 平成 28 年度の介護予防教室・住民講座等開催予定案内
	11	200	・ 西北圏域ネットワーク会議開催報告 「要援護者発見時の連携方法」 「医療との連携方法」 ・ 介護予防教室「アロマで認知症予防」 ・ 住民講座「悪質商法予防」
	3	200	・ 西北圏域地域ケア会議開催報告 ・ 西北圏域ネットワーク会議開催報告「事例検討」 ・ 介護予防教室「冬の栄養管理」 ・ 住民講座「終活」
八中包括	8	200	・ 介護予防教室開催報告 ・ 仁和寺団地健康なんでも相談会 ・ 八中包括ネットワーク会議 ・ まちかど福祉相談所&健康相談会開催報告 ・ 東高柳ふれあいサロン出前講座報告
	12	200	・ 介護予防教室開催報告 ・ 健康&福祉なんでも相談会開催 ・ 地域のサロン等での活動報告 ・ 西圏域ケアマネネットワーク会議開催報告 ・ 第 1 回西圏域地域ケア会議開催報告
	3	200	・ 介護予防教室開催報告 ・ 松下住宅地区サロンで包括支援センターの P R ・ 西圏域ケアマネネットワーク会議開催報告 ・ 第 2 回西圏域地域ケア会議開催報告

(7) 西北圏域独自：高齢者支援の為にネットワークづくりとインフォーマルサポートの実施

西北圏域包括（三中・友中）の独自の取り組みとして、圏域内の居宅介護支援事業所と連携し、「徘徊高齢者サポートネットワーク」を実施し、事務局は三中包括が担っています。

協力事業所数	12(-)
登録者数	- (△1)

(概要)

西北圏域の包括と協力事業所が、利用申し込みをした徘徊の可能性のある人（家族）の情報を共有し見守り活動を行います。

(8) 地域包括支援センターの地域の拠点としての運用状況

高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能をより高めるため、地域の拠点としてセンターの機能を地域に開放を行っています。

包括名	開放・利用状況
三中包括	西北まちかど福祉相談所（週1回） 西北高齢者外出援助サービス・予約受付会場（週1回）
八中包括	西・点野校区まちかど福祉相談所出張相談会 （7月～9月、11月～1月 月1回） 元気アップ体操教室（11月～3月 月2回） 太極拳教室（3月 3回）

(9) 介護予防支援事業の実施

要支援1、2と認定された人を対象に、予防プランの作成等を実施しています。

月	三中包括			八中包括		
	直作成件数	他事業所へ委託 件数(原案委託)	計	直作成件数	他事業所へ委託 件数(原案委託)	計
4	53 (14)	188 (3)	241 (17)	32 (△5)	167 (22)	199 (17)
5	51 (7)	193 (14)	244 (21)	28 (△12)	171 (27)	199 (15)
6	55 (9)	184 (6)	239 (15)	36 (△9)	164 (17)	200 (8)
7	54 (9)	178 (△6)	232 (3)	38 (△6)	152 (5)	190 (△1)
8	55 (10)	185 (6)	240 (16)	35 (△11)	159 (16)	194 (5)
9	55 (12)	180 (△5)	235 (7)	32 (△5)	156 (△2)	188 (△7)
10	56 (11)	178 (△19)	234 (△8)	36 (1)	162 (6)	198 (7)
11	58 (8)	178 (△25)	236 (△17)	38 (4)	176 (12)	214 (16)
12	55 (△2)	168 (△31)	223 (△33)	39 (5)	168 (△1)	207 (4)
1	56 (△1)	176 (△20)	232 (△21)	39 (7)	169 (△1)	208 (6)
2	55 (-)	179 (△13)	234 (△13)	38 (9)	167 (5)	205 (14)
3	54 (2)	180 (△6)	234 (△4)	34 (4)	181 (14)	215 (18)
計	657 (79)	2,167 (△96)	2,824 (△17)	425 (△18)	1,992 (120)	2,417 (102)

19. 生活困窮者自立支援事業 <市からの受託事業>

平成 27 年 4 月から生活困窮者自立支援法に基づき実施。自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業を実施し、経済的困窮のみならず、ひきこもりや様々な事情で生活に困っている世帯に支援を行っています。

(1) 自立相談支援事業

支援プランを作成し計画的な支援を行っています。

① 問合せ・相談件数

月	4	5	6	7	8	9	
件数	104(△70)	129(△5)	200(△27)	168(△30)	198(36)	115(△79)	
相談者数	20(△31)	25(△6)	28(4)	23(8)	20(3)	19(7)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件数	164(△44)	145(△49)	128(△52)	160(34)	139(△86)	162(△6)	1,812(△378)
相談者数	34(23)	29(17)	24(△2)	29(12)	23(△1)	20(△6)	294(28)

② 相談に至る動機

	直接	広報紙	インターネット・新聞等	CSW・福祉委員	市窓口	関係機関	その他	計
件数	80	14	8	31	111	37	13	294(28)

③ 相談経路

	電話	来所	アウトリーチ等	計
件数	478(△129)	1,219(△253)	115(4)	1,812(△378)

④ 相談時間

	30 分未満	30 分以上 1 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	2 時間以上	計
件数	870(△109)	632(11)	265(△214)	45(△66)	1,812(△378)

⑤ 相談者

	本人	家族	関係機関	福祉委員	その他	計
件数	1,393(△222)	227(△95)	163(△32)	12(△19)	17(△10)	1,812(△378)

⑥ 相談内容（重複有）

内容	生活費・医療費等の支払い	公的資金の貸付	住居確保給付金	就労相談	家族・近隣等の関係（ひきこもりの相談を含む）	緊急支援・制度について・その他（生活保護を含む）	計
件数	348(△18)	706(△175)	101(△184)	667(269)	115(△8)	495(△265)	2,432(△381)

⑦ 対応

	終了	継続	計
件数	608(△197)	1,204(△181)	1,812(△378)

⑧ 法に基づく事業等による支援の内訳

プランを立てて支援した件数 81 件 (33)

⑨ 支援内容（重複有）

内容	住居確保給付金	就労準備支援事業	就労訓練事業（中間的就労）	自立相談支援事業による就労支援	生活福祉資金による貸付	生活保護受給者等就労自立促進事業	その他社協の事業による支援	地域貢献委員会による支援	計
件数	10(△1)	20(11)	2(2)	63(35)	14(1)	51(34)	47(34)	3(3)	210(119)

*その他社協の事業による支援・・・生活緊急支援金の給付、善意銀行の食品払出し

⑩ 支援調整会議の開催（開催回数：12回）

ケース会議で検討・共有したケースについて、プランの適切性の協議、支援提供者によるプランの共有、プラン終結時の評価、社会資源の充足状況の把握と開発にむけた検討を目的に、保護課と月1回開催。今年度より、枚方ハローワークの職員も参加し、支援するプランについて協議を行いました。

第1回 4月26日(火) 7人

- 〔1〕 こどもを守る課のケース(16歳)の就労支援について
- 〔2〕 4月におけるプランの状況
- 〔3〕 就労準備支援事業について
- 〔4〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔5〕 枚方ハローワークの活用について

第2回 5月31日(火) 7人

- 〔1〕 生活保護受給者等就労自立促進事業のケースについて

- 〔2〕 5月におけるプランの状況
- 〔3〕 H27年度生活困窮者自立支援事業の報告
- 〔4〕 学習支援事業について
- 〔5〕 広報について

第3回 6月30日(木) 6人

- 〔1〕 6月におけるプランの状況
- 〔2〕 7月6日の大阪府市町村訪問について
- 〔3〕 学習支援事業の進捗状況(申込み状況)について
- 〔4〕 生活困窮者自立支援ケースの評価指標について
- 〔5〕 枚方ハローワークより情報提供

第4回 7月26日(火) 7人

- 〔1〕 7月におけるプランの状況
- 〔2〕 地域貢献委員会のうごきについて
- 〔3〕 就労準備支援事業の取り組みについて
- 〔4〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔5〕 ひきこもりの人たちの居場所づくりについて

第5回 8月31日(水) 6人

- 〔1〕 8月におけるプランの状況
- 〔2〕 地域貢献委員会のうごきについて
- 〔3〕 就労準備支援事業の取り組みについて
- 〔4〕 学習支援事業の進捗状況について

第6回 9月28日(水) 6人

- 〔1〕 9月におけるプランの状況
- 〔2〕 上半期のふりかえりと次年度の予算積算について
- 〔3〕 厚生労働省の評価指標(5月受付分)第2回の提出について
- 〔4〕 就労準備支援事業について
- 〔5〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔6〕 新システムの導入について
- 〔7〕 過去に生活保護受給していたケースの相談について

第7回 10月27日(木) 5人

- 〔1〕 10月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔3〕 特定求職者雇用開発助成金の創設に伴う手続きについて

第8回 11月29日(火) 6人

- 〔1〕 11月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔3〕 特定求職者雇用開発助成金制度について
- 〔4〕 厚生労働省の評価指標(11月受付分)第1回の提出について
- 〔5〕 大阪弁護士会の法律相談事業について
- 〔6〕 実践報告会について

第9回 12月21日(水) 6人

- [1] 12月におけるプランの状況
- [2] 学習支援事業の進捗状況について
- [3] ハローワーク常設窓口(ねやがわシティステーション内)について

第10回 1月27日(金) 6人

- [1] 1月におけるプランの状況
- [2] 学習支援事業の進捗状況について
- [3] 保護課主催の就労支援研修について
- [4] ねやがわシティステーションのハローワークの利用状況について
- [5] 新自立支援統計システムについて

第11回 2月24日(金) 5人

- [1] 2月におけるプランの状況
- [2] 学習支援事業の進捗状況について
- [3] ねやがわシティステーションのハローワークの利用状況について
- [4] 実践報告会について

第12回 3月28日(火) 6人

- [1] 3月におけるプランの状況
- [2] 学習支援事業の進捗状況について
- [3] 庁内連携会議のメンバーについて
- [4] ねやがわシティステーションのハローワークの利用状況について
- [5] 大阪弁護士会との連携について

※支援調整会議におけるプラン協議(新規・中止・終了・再プラン)件数 132件

(住居確保給付金 11件、自立相談支援事業 90件、就労準備支援事業 29件、就労訓練事業 2件)

⑪ 就労等に関する支援状況

就労や増収した件数 39件

(2) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい(借家)を失うおそれのある世帯に、住宅費を期限付きで支給する(市が決定)。問合せや相談、申請受付、支給期間中に就職活動の状況を把握するための定期面談等を行っています。

支給期間は基本3か月間。一定の要件を満たせば3か月間を延長・再延長で支給。

項目	相談・問合せ	申請	支給	中止
件数	50(-)	6(△4)	3(△7)	-(△2)
支給総額			468,000円 (△1,207,500)	

(3) 就労準備支援事業

日常生活における自立、地域社会への参加及び就労に向けた準備として、社会体験、職場体験の場など支援プログラムを作成し支援を実施し、社会参加、就労に向けた支援を行っています。

① 支援プログラム内容

今年度は、男女分けずにグループ活動を実施。自分の性格を再認識するワーク・ゲーム等の本会独自のプログラムに加え、新たに3つのコース（お役に立ち隊・やってみ隊・働き隊）を設定しました。

参加人数		内 訳 *重複あり				就労訓練事業 (中間的就労)
		グループ 活動	お役に立ち 隊コース (V体験)	やってみ隊 コース (職場体験)	働き隊 コース	
男性	9	9	1	-	-	1
女性	6	5	1	2	1	-
計	15	14	2	2	1	1

(4) 生活困窮者自立支援事業実践報告会（開催回数：1回）

実施日 2月23日（木）

会 場 保健福祉センター 多目的室

参加者 40名

内 容 第一部 基調講演「生活困窮者自立支援制度の理念とこれからの展開」
実施報告「寝屋川市社会福祉協議会の取組み状況について」
第二部 インタビュー「生活困窮者自立支援事業利用者の声」
全体ディスカッション「若年層の生活困窮者の支援について」

講 師 大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之氏

報告者 社会福祉協議会 職員

登壇者 当事業利用者2名

聞き手 社会福祉協議会 職員

20. 生活福祉資金貸付事業<府社協からの受託事業>

低所得者世帯等に対し、経済的自立及び生活意欲や社会参加の促進等を図ることを目的に、民生委員の協力を得て資金の貸し付けと必要な相談支援を行っています。

(1) 生活福祉資金貸付事業

① 相談件数

月	緊急小口資金 (※)	総合支援資金	臨時特例つなぎ資金	福祉資金	不動産担保型 生活資金	計
4	18(△7)	11(3)	-(△2)	18(△10)	1(-)	48(△16)
5	13(△23)	19(△8)	-(-)	32(△5)	1(-)	65(△36)
6	40(17)	26(10)	-(-)	34(△12)	7(6)	107(21)
7	46(16)	26(9)	-(-)	28(△22)	5(2)	105(5)
8	31(10)	29(18)	-(-)	44(19)	4(1)	108(48)
9	10(△12)	17(6)	-(△2)	24(△14)	3(1)	54(△21)
10	16(5)	16(10)	3(2)	34(△15)	2(1)	71(3)
11	15(△2)	6(△8)	-(△1)	24(△9)	1(1)	46(△19)
12	16(5)	8(1)	-(-)	17(△31)	-(△2)	41(△27)
1	10(△2)	16(12)	-(-)	21(△7)	3(2)	50(5)
2	13(△6)	1(△16)	-(-)	42(△32)	1(△2)	57(△56)
3	5(△8)	1(△5)	-(-)	40(△1)	1(1)	47(△13)
計	233(△7)	176(32)	3(△3)	358(△139)	29(11)	799(△106)

※平成28年度より、「小口生活資金」から「緊急小口資金」に制度変更

② 貸付件数

	緊急小口資金	総合支援資金	臨時特例 つなぎ資金
申請	27(6)	13(4)	-(-)
決定	20(△1)	8(2)	-(-)
貸付決定額 (円)	1,612,000 (68,000)	3,516,000 (991,000)	- (-)

教育支援資金		福祉資金		不動産担保型 生活資金	計
生活保護世帯	低所得世帯	生活必需品	福祉費		
22(9)	10(△15)	14(△7)	4(△4)	1(-)	91(△7)
21(9)	10(△14)	12(△8)	4(△4)	-(△1)	75(△17)
12,661,000 (5,740,000)	6,762,000 (△10,934,000)	712,000 (△1,336,000)	1,484,000 (△3,978,000)	- (△2,429,000)	26,747,000 (△33,739,000)

※生活必需品とは、生活保護世帯を対象に健康管理や日常生活に著しい支障をきたす場合において、エアコンや冷蔵庫等の生活必需品を購入するための貸付金

2 1. 生活緊急支援金給付事業

歳末たすけあい運動の募金を財源に、必要やむを得ない緊急的かつ一時的な理由によって、生活の維持が困難な世帯に対し、支援金の給付と相談援助等の支援を行っています。

(1) 生活緊急支援金の給付

①月別給付件数及び金額

月	4	5	6	7	8	9	
給付件数	4(△1)	4(△6)	3(△3)	3(2)	4(1)	1(△2)	
給付金額 (円)	36,000 (△126,000)	39,088 (△100,912)	23,000 (△53,000)	30,000 (12,000)	48,000 (△77,000)	8,000 (△18,000)	
月	10	11	12	1	2	3	計
給付件数	1(-)	2(△3)	2(△4)	1(-)	2(△1)	4(3)	31(△14)
給付金額 (円)	7,000 (△1,000)	23,000 (△25,000)	17,000 (△63,000)	45,000 (35,000)	16,000 (△21,000)	41,000 (32,000)	333,088 (△405,912)

②生活困窮のおもな原因

失業	就労収入 減少	年金等 収入減少	疾病	扶養援助 喪失	その他	計
5(△5)	1(△1)	1(1)	15(△3)	5(4)	4(△10)	31(△14)

③世帯人員の状況

単身	2人	3人	4人	5人以上	計
24(△6)	1(△5)	3(△1)	1(△2)	2(-)	31(△14)

④申請者の年齢状況

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
-(-)	3(△4)	2(△3)	6(△8)	12(6)	6(△3)	2(△1)	-(△1)	31(△14)

⑤原資の状況

項目	件数	金額
① 前年度末原資残高		4,141,343 円
② 緊急支援金給付金支出	31 件	333,088 円
③ 歳末たすけあい募金助成金収入	1 件	230,000 円
④ 指定寄附金収入	6 件	38,000 円
⑤ 利息収入	1 件	124 円
年度末原資残高 (①-②+③+④+⑤)		4,076,379 円

22. 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)＜府社協からの受託事業＞

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分ではない方々に対して、日常的な金銭管理、福祉サービスの利用援助などの支援を行っています。

(1) 契約件数および支援回数

前年度末契約数	81 (△1)
新規契約数	36 (25)
契約終了数	12 (-)
年度末契約数	105 (24)
年間支援回数	2,626 (452)

(2) 契約に関する件数

項目	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
新規契約数	16(12)	4(4)	16(9)	36(25)
契約終了数	7(-)	4(3)	1(△3)	12(-)
年度末区分別 契約数	44(9)	13(-)	48(15)	105(24)
契約準備数	2(△2)	-(-)	1(△1)	3(△3)

※契約準備数は3月末時点より、2ヵ月後までに契約締結見込数

(3) 新規契約の相談経路

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
介護事業所	13	-	1	14
障害福祉課	-	2	1	3
保護課	-	-	2	2
医療機関	-	-	7	7
障害者支援機関	-	1	3	4
地域包括支援センター	1	-	-	1
社会福祉協議会	1	-	1	2
家族・本人	1	1	1	3
計	16	4	16	36

(4) 利用者に対する支援実施状況

① サービス別利用状況

(凡例 (A) 利用援助サービス (B) 金銭管理 (C) 預かりサービス)

	(A)	(A) + (B)	(A) + (C)	(A)+(B)+(C)	計
認知症高齢者	1(1)	38(10)	-(-)	5(△2)	44(9)
知的障害者	-(-)	6(2)	-(-)	7(△2)	13(-)
精神障害者	-(-)	44(19)	-(-)	4(4)	48(15)
計	1(1)	88(31)	-(-)	16(△8)	105(24)

② 性別・世帯状況・生活の場所

		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
性別	男性	20(5)	9(1)	28(10)	57(16)
	女性	24(4)	4(△1)	20(5)	48(8)
世帯	単身者	39(7)	7(4)	44(13)	90(24)
	夫婦	4(2)	-(-)	-(-)	4(2)
	その他	1(-)	6(△4)	4(2)	11(△2)
生活の場所	在宅	26(7)	12(-)	39(13)	77(20)
	グループホーム	6(-)	1(-)	-(-)	7(-)
	福祉施設	9(-)	-(-)	5(-)	14(-)
	病院	3(2)	-(-)	4(2)	7(4)

③ 経済状況

		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
経済状況	生活保護世帯	33(3)	9(3)	38(15)	80(21)
	所得税非課税世帯	11(6)	3(△3)	10(-)	24(3)
	所得税課税世帯	-(-)	1(-)	-(-)	1(-)

④ 支援計画に基づく1か月あたりの支援回数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
週1回	1(1)	3(1)	23(8)	27(10)
月1回	37(10)	6(1)	18(6)	61(17)
隔週	-(△1)	1(-)	3(1)	4(-)
月2回	6(△1)	3(2)	4(-)	13(1)

(5) 利用者に関する相談・問合せ件数

① 相談・問合せ延べ件数

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
110(22)	333(△64)	942(65)	-(-)	1,385(23)

② 相談・問合せ方法

電話	来所	訪問	計
1,318(35)	51(20)	16(△32)	1,385(23)

③ 相談経路内訳

区 分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
本 人	11(5)	310(△72)	865(101)	-(-)	1,186(34)
家 族	12(10)	10(8)	25(9)	-(-)	47(27)
知 人	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
民生・児童委員	-(-)	-(-)	-(△2)	-(-)	-(△2)
介護保険施設	77(22)	-(△1)	14(△4)	-(-)	91(17)
その他福祉施設	5(5)	4(1)	1(△14)	-(-)	10(△8)
専門相談機関	1(△3)	3(1)	16(△10)	-(-)	20(△12)
行 政	1(△7)	1(△3)	5(△4)	-(-)	7(△14)
医 療 機 関	1(△4)	2(1)	16(△6)	-(-)	19(△9)
そ の 他	2(△6)	3(1)	-(△5)	-(-)	5(△10)
計	110(22)	333(△64)	942(65)	-(-)	1,385(23)

④ 相談・問い合わせ内容

内容区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
福祉サービス利用援助	2(△2)	3(-)	18(14)	-(-)	23(12)
日常的な金銭管理	86(31)	251(△27)	780(87)	-(-)	1,117(91)
書類などの預かり	-(-)	-(△1)	-(△1)	-(-)	-(△2)
その他生活相談	18(△11)	79(△36)	143(△36)	-(-)	240(△83)
成年後見制度関連	4(4)	-(-)	1(1)	-(-)	5(5)
計	110(22)	333(△64)	942(65)	-(-)	1,385(23)

(6) 新規受付・事業問い合わせ件数

項 目	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
新規受付数	20(△2)	3(△2)	13(△9)	36(△13)
事業問い合わせ件数	14(△7)	1(△1)	9(2)	24(△6)

23. 善意銀行事業

市民からの寄せられた金品を預かり、必要としている方へ払い出しを行っています。

(1) 預託・払出の状況

① 現金預託・払出の実施状況

預託 5件 預託金額 96,966 円(△51,545 円)

払出 5件 払出金額 116,966 円(△43,562 円)

＊3月31日現在の残高金額 1,497,614 円

② 物品預託・払出の実施状況

	件数	点数	主な品名
預託	44 (11)	53 (14)	物品：テレホンカード、冷蔵庫、ポータブルトイレ、車イス、下着、紙おむつ、炊飯器など 食品：インスタント麺、お菓子、お茶、レトルト食品、スポーツ飲料など
払出	66 (11)	141 (58)	物品：テレホンカード、浴槽台、冷蔵庫、松葉杖、浴槽チェア、下着、車イス、紙おむつ、炊飯器など 食品：インスタント麺、乾麺、お米、お菓子、レトルト食品、水、スポーツ飲料、缶詰など

＊ 預託・払出の実施状況のうち、地域貢献委員会加入施設から食品の預託 21 件、払出 31 件を実施

24. 法人運営・基盤強化事業

住民を主体とした地域福祉を推進する法人として、経営基盤・運営基盤の強化・発展を図ります。

(1) 法人運営事業

① 役員会・理事会の開催（開催回数：役員会 13 回・理事会 11 回）

第 1 回	役員会	4 月 21 日（木）	出席：役員 4 人
第 1 回	理事会	4 月 25 日（月）	出席：理事 18 人・監事 2 人

報 告

- 〔1〕平成 28 年度事務局人事異動について

議 案

- 〔1〕平成 28 年度敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
- 〔2〕平成 28 年度運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について
- 〔3〕平成 28 年度校区福祉委員会実務担当者・新任福祉委員研修会開催要項について
- 〔4〕平成 28 年度まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

報 告

- 〔1〕平成 28 年度会員募集中間報告について
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕委員会報告
- 〔6〕その他

第 2 回	役員会	5 月 12 日（木）	出席：役員 4 人
第 2 回	理事会	5 月 25 日（水）	出席：理事 14 人・監事 1 人

議 案

- 〔1〕選任区分 6 「知識経験者」の選出について
- 〔2〕評議員候補者への同意について
- 〔3〕平成 27 年度事業報告認定について
- 〔4〕平成 27 年度社会福祉事業決算報告認定について
- 〔5〕平成 27 年度公益事業決算報告認定について
【平成 27 年度監査報告】
- 〔6〕ボランティア講座基礎Ⅰ「災害ボランティアセンタースタッフ養成講座」開催要項について
- 〔7〕第 1 回家族介護者交流事業実施要項について
- 〔8〕地域で取り組む介護予防教室「笑顔いきいき元気アップ教室」実施要項について（八中包括開催分）

報 告

- 〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕委員会報告

〔5〕 その他

臨時理事会	6月15日（水）	出席：理事20人・監事2人
-------	----------	---------------

案 件

- 〔1〕 会長・副会長の選任について
- 〔2〕 定款第12条第4項による議長の選任について
- 〔3〕 常務理事の指名について

第3回 役員会	6月22日（水）	出席：役員4人
---------	----------	---------

第3回 理事会	6月27日（月）	出席：理事20人・監事2人
---------	----------	---------------

依 頼

- 〔1〕 大阪府中央子ども家庭センターからの依頼

報 告

- 〔1〕 会長職務代理者の指名について

議 案

- 〔1〕 評議員候補者への同意について
- 〔2〕 各種専門委員会委員の選任について
- 〔3〕 役員選任に伴う退任者の処遇について
- 〔4〕 平成28年度敬老記念式典における表彰者の推薦について
- 〔5〕 平成28年度緊急時安否確認（かぎ預かり）事業「校区福祉委員会と施設の緊急時対応合同模擬訓練」実施要項について
- 〔6〕 平成28年度「運転協力者現任研修会」開催要項について
- 〔7〕 地域で取り組む介護予防教室「笑顔いきいき元気アップ教室」実施要項について
（三中包括開催分）

報 告

- 〔1〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔2〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔3〕 その他

第4回 役員会	7月15日（金）	出席：役員4人
---------	----------	---------

第4回 理事会	7月25日（月）	出席：理事18人・監事2人
---------	----------	---------------

議 案

- 〔1〕 災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する社会福祉協議会と市との協定の締結について
- 〔2〕 広報編集委員会委員の選任について
- 〔3〕 平成28年度歳末たすけあい運動実施要項について
- 〔4〕 ねやがわ市民ふくし講座「ビッグイシューの挑戦」開催要項について
- 〔5〕 ボランティア講座基礎Ⅱ「笑顔あふれるレクリエーション講座」開催要項について

報 告

- 〔1〕 平成28年度敬老記念式典における表彰者の決定について
- 〔2〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕 後援承認について

〔6〕 委員会報告

その他

〔1〕 寝屋川市障害者団体協議会「設立 25 周年記念行事」のご案内とチラシ配布について

〔2〕 子育て支援課より「寝屋川市子育て情報誌ねやがわ子育てナビ」「ねやがわ子育てマップ」の配布について

第 5 回 役員会 8 月 25 日（木） 出席：役員 4 人

議 案

〔1〕 平成 28 年度役員・評議員管外研修会開催要項について

〔2〕 平成 28 年度社協運営委員会への諮問について

〔3〕 ボランティア講座基礎Ⅰ「私にもちよっとだけできるボランティア（ちょいぼら）」講座開催要項について

〔4〕 元気アップ介護予防ポイント事業「登録サポーター実力向上研修」実施要項について

〔5〕 災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する社協と市との協定の締結について

報 告

〔1〕 緊急時安否確認に関する状況把握について

〔2〕 生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕 後援承認について

〔5〕 委員会報告

第 6 回 役員会 9 月 20 日（火） 出席：役員 4 人

第 5 回 理事会 9 月 26 日（月） 出席：理事 19 人・監事 2 人

議 案

〔1〕 災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する社協と市との協定の締結について

〔2〕 ボランティア講座基礎Ⅰ「私にもちよっとだけできるボランティア（ちょいぼら）」講座開催要項について

〔3〕 ボランティア講座基礎Ⅰ「コーヒーのおいしい！淹れ方講座」開催要項について

〔4〕 ボランティア講座基礎Ⅰ「配食ボランティア養成講座」開催要項について

〔5〕 まちかど福祉相談員現任研修会「発達障害のある人とのコミュニケーション方法について学ぶ」研修会開催要項について

〔6〕 福祉広報研修会「ワクワク広報紙づくり」～楽しい！グループ運営の仕方と上手い！広報の作り方～開催要項について

〔7〕 第 2 回家族介護者交流事業実施要項について

報 告

〔1〕 元気アップ介護予防ポイント事業「登録サポーター実力向上研修」実施要項について

- 〔2〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 委員会報告

その他

- 〔1〕 新年互礼会の日程変更について

第7回	役員会	10月19日(水)	出席：役員4人
第6回	理事会	10月25日(火)	出席：理事16人・監事2人

議 案

- 〔1〕 平成29年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
- 〔2〕 歳末たすけあい運動募金配分計画について
- 〔3〕 校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう」開催要項について
- 〔4〕 ボランティア講座シニア編「作ってみよう！便利な自助具」開催要項について
- 〔5〕 地域で取り組む介護予防教室「笑顔いきいき元気アップ教室」開催要項（第3回目）三中包括開催分について

報 告

- 〔1〕 平成27年度歳末たすけあい運動街頭募金の日程について
- 〔2〕 地域における孤立死などの発見に関する状況報告について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 委員会報告

その他

- 〔1〕 アルコールに関するリーフレットの配布(障害福祉課)

第8回	役員会	11月15日(火)	出席：役員4人
第7回	理事会	11月25日(金)	出席：理事19人・監事2人

監査報告

- 〔1〕 中間監査報告について

議 案

- 〔1〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 〔2〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会設置運営規程の制定について
- 〔3〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会役員及び評議員選任規則の一部改正について
- 〔4〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会役員報酬及び費用弁償等に関する規程の全部改正について
- 〔5〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会常務理事設置規程の一部改正について
- 〔6〕 評議員候補者への同意について

〔7〕生活困窮者自立支援事業実践報告会開催要項について
報 告

- 〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕後援承認について
- 〔5〕新年互礼会の日程について
- 〔6〕委員会報告

第9回 役員会 12月19（月）出席：役員4人

第8回 理事会 12月26日（月）出席：理事19人・監事2人

報 告

- 〔1〕理事の同意について

依頼事項

- 〔1〕こどもを守る課からの依頼

いじめ防止・児童虐待防止にむけたリーフレット「みんなで守ろう子どもの笑顔」
の配布について

議 案

- 〔1〕組織構成会員研修会開催要項について
- 〔2〕ボランティア活動見本市開催要項について
- 〔3〕福祉教育推進セミナー開催要項について
- 〔4〕第3回家族介護者交流事項開催事項について

報 告

- 〔1〕生命保険協会大阪府協会から福祉巡回車の寄贈について
- 〔2〕歳末たすけあい運動の街頭募金の実績報告について
- 〔3〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔4〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔5〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔6〕後援承認について
- 〔7〕委員会報告

第10回 役員会 1月26（木）出席：役員4人

議 案

- 〔1〕ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

報 告

- 〔1〕歳末たすけあい運動募金実績報告について
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕委員会報告

第11回 役員会 2月20日（月）出席：役員4人

第9回 理事会 2月27日（月）出席：理事20人・監事2人

議 案

- 〔1〕 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 〔2〕 平成 29 年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

報 告

- 〔1〕 歳末たすけあい運動募金実績報告について
- 〔2〕 平成 29 年度福祉学習説明会の開催について
- 〔3〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔4〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔5〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔6〕 平成 29 年度年間行事予定・地域献血日程について
- 〔7〕 委員会報告

その他

- 〔1〕 健康推進室からの依頼

平成 29 年度ワガヤネヤガワ健康ポイント事業について

- 〔2〕 Club E&T からの依頼

「第 3 回寝屋川ハート・アート展」チラシ配布について

- 〔3〕 寝屋川高齢者サポートセンター運営協議会からの依頼

「寝屋川高齢者サポートセンター」パンフレットの配布について

第 12 回 役員会	3 月 9 日（木）出席：役員 4 人
第 10 回 理事会	3 月 15 日（水）出席：理事 19 人・監事 2 人

議 案

- 〔1〕 選任区分 6「知識経験者」の選任について
- 〔2〕 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について
- 〔3〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 〔4〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について
- 〔5〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- 〔6〕 平成 29 年度事業計画について
- 〔7〕 平成 29 年度社会福祉事業予算について
- 〔8〕 平成 29 年度公益事業予算について
- 〔9〕 災害時用備蓄品（食糧）の提供に関する協定書について

報 告

- 〔1〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔2〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕 後援承認について
- 〔5〕 委員会報告

臨時 役員会	3 月 17 日（金）出席：役員 3 人
--------	----------------------

議 案

- 〔1〕 平成 29 年度事業計画について

②評議員会の開催（開催回数：3回）

第1回 評議員会 5月30日（月）

出席： 評議員 42人・理事 19人・監事 2人

議 案

- 〔1〕平成27年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業報告承認について
- 〔2〕平成27年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業決算報告承認について
- 〔3〕平成27年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会公益事業決算報告承認について
【平成27年度監査報告】
- 〔4〕役員（理事・監事）の選任について

臨時評議員会 12月22日（木）

出席： 評議員 38人・理事 19人・監事 2人

議 案

- 〔1〕理事候補者への同意について
- 〔2〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 〔3〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会役員報酬及び費用弁償等に関する規程の全部改正について

報 告

- 〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会設置運営規程の制定について
- 〔2〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会役員及び評議員選任規則の一部改正について

第2回 評議員会 3月30日（木）

出席： 評議員 41人・理事 19人・監事 1人

議 案

- 〔1〕平成29年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業計画について
- 〔2〕平成29年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業予算について
- 〔3〕平成29年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会公益事業予算について

報 告

- 〔1〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔2〕平成29年度年間行事予定について

③役員・評議員候補者選任区分別会議の開催（開催回数：10回）

任期満了に伴う役員改選を行った。

- | | | |
|----------------|---------------|--------|
| 【区分1】校区福祉委員会 | 5月20日（金）社協会議室 | 出席：17人 |
| 【区分2】住民代表 | 5月17日（火）社協会議室 | 出席：3人 |
| 【区分3】福祉専門機関・団体 | 5月17日（火）社協会議室 | 出席：11人 |
| 【区分4】当事者組織 | 5月19日（木）社協会議室 | 出席：8人 |
| 【区分5】関係機関・団体 | 5月19日（木）社協会議室 | 出席：3人 |

改正社会福祉法施行に伴い本会定款を改正し、改正後の定款にもとづいた役員改選を行った。

- | | | |
|--------------|--------------|--------|
| 【区分1】校区福祉委員会 | 3月1日（水）社協会議室 | 出席：23人 |
|--------------|--------------|--------|

【区分2】住民代表	2月24日（金）社協会議室	出席：3人
【区分3】福祉専門機関・団体	2月24日（金）社協会議室	出席：11人
【区分4】当事者組織	2月28日（火）社協会議室	出席：7人
【区分5】関係機関・団体	2月28日（火）社協会議室	出席：6人

④ 評議員選任・解任委員会の開催（開催回数：1回）

改正後の定款にもとづき、評議員選任・解任委員会を新たに設置し、評議員の選任を行った。

第1回 3月24日（金） 出席3人

議 案

〔1〕評議員の選任について

⑤ 社協運営委員会の開催（開催回数：6回）

社協の運営にかかわる諸問題のうち、会長が運営委員会での検討を要すると認めた事項について、その課題解決の方向性等について検討し、必要に応じて役員会に報告又は提案を行います。

第1回 7月25日（月） 出席7人

議 案

〔1〕正副委員長の選出

〔2〕今後の予定

第2回 9月26日（月） 出席7人

議 案

〔1〕社会福祉協議会会長からの諮問について

第3回 10月14日（金） 出席6人

議 案

〔1〕評議員選任・解任委員会の設置（案）について

〔2〕役員及び評議員選任規則の改正（案）について

〔3〕役員報酬及び費用弁償等に関する規程の改正（案）について

〔4〕常務理事設置規程の改正（案）について

〔5〕平成28年度歳末たすけあい運動募金配分計画（案）について

第4回 11月9日（水） 出席7人

議 案

〔1〕諮問事項に対する答申（案）について

第5回 12月20日（火） 出席7人

議 案

〔1〕介護予防・日常生活支援総合事業について（高齢介護室からの説明）

第6回 2月14日（火） 出席6人

議 案

〔1〕社会福祉基金利息運用事業について

〔2〕社会福祉協議会会員募集について

⑥ 組織構成会員募集の実施

地域の各種団体や福祉関係者の参加を得て地域福祉活動を広範にすすめていくために組織構成会員を募集し、156の団体や施設の加入を得ました。

(2) 地域貢献委員会の運営支援

組織構成会員の社会福祉法人46団体で構成される地域貢献委員会の事務局を担い、運営の支援を行います。

① 役員会の開催（開催回数：6回）

第1回 6月30日（木） 出席：6人

議 案

- 〔1〕 地域貢献委員会研修会（8月30日開催）について
- 〔2〕 生活困窮者への支援について
- 〔3〕 会費の徴収について
- 〔4〕 コミセンエリア別情報交換会の実施について

第2回 7月25日（月） 出席：5人

議 案

- 〔1〕 地域貢献委員会研修会出欠状況について
- 〔2〕 生活困窮者への支援について（食品、給食支援・就労支援の説明会について）

第3回 8月19日（金） 出席：6人

議 案

- 〔1〕 地域貢献委員会研修会について（最終確認）
- 〔2〕 その他

①赤い羽根共同募金への協力依頼について

第4回 9月30日（金） 出席：6人

議 案

- 〔1〕 地域貢献委員会研修会のふりかえり
- 〔2〕 生活困窮者支援説明会開催後の進捗状況について

第5回 11月29日（火） 出席：6人

議 案

- 〔1〕 今後の取り組みについて
- 〔2〕 生活困窮者支援について
- 〔3〕 その他

第6回 1月27日（金） 出席：5人

議 案

- 〔1〕 総会の開催について
- 〔2〕 生活困窮者支援について
- 〔3〕 その他

② 研修会の開催

開催日 8月30日（火）

行き先 滋賀の縁（えにし）創造実践センター

内 容 講演「滋賀の縁創造実践センターの取り組みについて～民間福祉関係者が枠を超えて福祉の新しい手法にチャレンジする～」

講師 滋賀の縁創造実践センター 所長 谷口郁美氏

参加者 31 人 (21 法人)

③生活困窮者支援説明会の実施

開催日 8 月 19 日 (金)

参加施設数：食品・給食 24 施設、就労支援 24 施設

生活困窮者への支援アンケートに基づき、協力できると回答のあった施設を対象に、食品・給食支援及び就労支援に関する説明会を行った。

④総会の開催

開催日 2 月 23 日 (木)

場 所 総合センター 4 階 第 2 研修室

内 容 第一部

(1)平成 28 年度事業報告・決算報告について

(2)平成 28 年度会計監査について

(3)役員改選について

(4)平成 29 年度事業計画・予算(案)について

第二部

(1)コミュニティセンターエリア別情報交換会

(3) 財源確保事業

① 会員募集の実施

〔1〕 住民賛助会費 18,757,211 円 (△613,203 円)

〈住民賛助会員：会員区分別金額・口数表〉

(金額単位：円)

区分	一 般	特 別	賛 助	特別賛助	名 誉	特別名誉	協力費	計
金額	10,816,000	1,041,000	270,000	510,000	420,000	540,000	5,160,211	18,757,211
口数	21,632	1,041	135	170	84	54		23,116

〔2〕 組織構成会員会費 735,000 円 (法人 115・未法人 31：計 146 事業所・団体)
(前年比 42,000 円増)

② その他財源確保に関する取り組みの実施

〔1〕 福祉基金(目標額：3 億円)

平成 27 年度末の福祉基金額 212,105,416 円

平成 28 年度基金の積立額 2,360,026 円 (寄附件数 2 件：利息分含む)

平成 28 年度末の福祉基金額 214,465,442 円

〔2〕 一般寄附金

平成 28 年度の寄附金額 274,332 円 (寄附件数 21 件)

(4) 災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する協定の締結

市の定める「寝屋川市地域防災計画」に基づき、市と本会で災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関し、役割や分担、連携、設置場所等について必要な事項を定め協定を締結した。

協定締結日 10月4日（火）

(5) 実習生の受入れ

社会福祉士資格取得を目指す学生の受入れを行いました。

大阪市立大学 1人

関西大学 1人

同志社大学 1人 計3人

25. 研修事業

地域福祉を推進するため最新の福祉施策や制度・サービス、地域福祉活動の動向を学び、本市の地域福祉活動に活かすことを目的に実施又は参加しました。

(1) 役員（理事・監事）・評議員研修

① 社会福祉法人監事研修会への参加

開催日 11月22日（火）

場 所 大阪社会福祉指導センター

内 容 講義「具体事例から考える、指導監査の具体的な内容と監事の役割」

講義「社会福祉法人制度改革について具体的な内容～監事が行うべきこと～」

参加者 2名

② 役員（理事・監事）・評議員研修の実施

開催日 10月31日（月）

場 所 芦屋市社会福祉協議会

内 容 「緊急かつ一時的に困窮する人への食の支援のとりくみについて」

参加者 43人

(2) 組織構成会員研修の実施

開催日 3月3日（金）

場 所 総合センター4階第2研修室

内 容 「コミュニケーションデザイン～より良いカタチの繋がり～」

参加者 26人

講 師 田 川 雅 規 氏（あそびの工房もくもく屋コミュニケーションデザイナー）

(3) 職員研修

① 総務課、地域福祉課、生活支援課共通

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
1	日本地域福祉学会第30回記念大会	2	1
2	生活困窮者自立支援制度自立相談支援事業従事者研修	3	4
3	ファシリテーション研修	2	1
4	広報紙研修会	2	1
5	地域包括ケアシステムに関する研修会	1	5
6	シンポジウム「東日本大震災から5年～防災・復興の現場から学び取る」	1	1
7	自立相談支援事業従事者養成研修（相談支援員）	6	1
8	要保護児童対策地域協議会研修会	1	2
9	福祉部集合研修	1	2
10	自立相談支援事業従事者養成研修（就労支援員）	6	1

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
11	市町村社協連合会事務局長研修「地域づくりから始める地域包括ケア」	1	2
12	共生・福祉のまちづくり研修会「介護予防・日常生活支援総合事業がめざすもの」	1	1
13	ギャンブル依存症者支援に関するシンポジウム	1	2
14	自立支援型ケアプラン作成研修	1	1
15	地域包括ケアシステムに関するシンポジウム	1	4
16	高齢者虐待対応初任者研修	1	1
17	成年後見制度説明会	1	1
18	大阪府介護支援専門員更新研修	8	1
19	在宅難病患者支援関係者研修会	1	1
20	地域包括支援センター職員基礎研修	2	1
21	高齢者に対してのリハビリ研修	1	2
22	地域ケア会議充実強化研修	2	1
23	介護予防・日常生活支援総合事業研修会	6	11
24	新地域支援事業説明会	1	4
25	自立支援型地域ケア会議に向けての研修会	11	24
26	地域包括支援センター職員研修	1	5
27	就労訓練事業(中間的就労)就労支援担当者養成研修会	1	1
28	生活困窮者相談に役立つ法律の基礎研修会	2	2
29	就労支援コーディネーター研修会	1	1
30	青少年の社会参加・社会的自立に向けた研修会	1	1
31	寝屋川市自立支援協議会発達障害者支援事例検討会	1	1
32	生活福祉資金担当者新任研修会	1	2
33	日常生活自立支援事業新任者研修会	2	3
34	会計管理者・担当者研修会	1	1
35	社会福祉法人監事研修会	1	1
36	第2回会計管理者・担当者研修会	1	1
37	在宅医と共に学ぶ研修会	1	3
34	認知症ライフサポート研修のためのファシリテーター研修	1	1
35	認知症ライフサポート研修	1	1
36	在宅医と共に学ぶ研修会	1	3
37	不登校・ひきこもり支援に関するシンポジウム	1	7
38	神経難病研修会	1	1
39	介護予防・日常生活支援総合事業システム説明会	1	4
40	在宅ケア研究会「地域包括ケアと薬局薬剤師の役割」	1	1
41	在宅医療における栄養ケア事業関係者向け研修会	1	1

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
42	認知症初期集中支援チーム事例検討会	1	1
43	多職種連携研修会	1	1
44	アセスメントセミナー	1	1
45	多機関の協働による包括的相談支援体制全国推進セミナー	1	1
46	借金相談に係る専門知識習得のための研修会	3	3
47	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	2	1
49	不登校・ひきこもりを考えるつどい	1	1
50	大阪市生活困窮者自立支援事業（法律相談）事例研修	1	1
51	長時間労働対策研修	1	1
52	生活困窮者自立支援事業実践交流会	1	2
53	社会福祉法人による地域貢献事業実践報告会	1	1
54	就労支援研修（保護課主催）	1	5
55	社協らしい地域包括ケア推進に向けた生活支援サービス等の開発・実施にかかる情報交換会	1	2
計		102	138

26. 福利厚生事業

市民へのサービスと職員の福利厚生を図るとともに自主財源の確保を目的に、総合センター内において食堂「虹」の運営等を行っています。

(1) 食堂「虹」の運営

【月別運営状況】

月	4	5	6	7	8	9
営業日数 (日)	25 (-)	24 (-)	27 (△1)	26 (-)	23 (-)	25 (-)
来店者数 (人)	2,599 (△424)	3,014 (△117)	3,311 (△293)	3,285 (△65)	2,472 (△293)	2,988 (△253)
営業収入 (円)	1,789,230 (△133,635)	2,004,430 (△52,745)	2,246,170 (△203,605)	2,182,290 (6,130)	1,698,730 (△115,335)	2,035,665 (△133,540)

月	10	11	12	1	2	3	計
営業日数 (日)	27 (1)	25 (△2)	24 (-)	23 (△1)	23 (△1)	27 (-)	299 (△4)
来店者数 (人)	3,183 (△152)	3,360 (△671)	2,810 (168)	2,442 (△189)	3,178 (352)	3,777 (642)	36,419 (△1,295)
営業収入 (円)	2,259,250 (81,260)	2,356,200 (△409,585)	1,981,520 (64,070)	1,719,090 (△61,085)	2,207,635 (265,125)	2,703,180 (479,235)	25,183,390 (△213,710)

(2) 自動販売機設置 7台（総合センター1階：5台、2階：1台、4階：1台）

27. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営

赤い羽根共同募金運動の実施、共同募金配分申請の受付事務等を行っています。

(1) 共同募金配分申請の受付

共同募金配分金申請について周知し、施設・団体等から申請の受付を行った。

周 知 機関紙「虹」（5月1日号）

受付件数 6件

(2) 共同募金配分決定

配分件数 5件（再掲 P45 参照）

28. 災害被災地支援活動

熊本地震による震災被災地に対し「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」、および全国社会福祉協議会の被災地支援の決定に基づき、支援職員の派遣を行った。

第3クール 熊本県菊陽町社会福祉協議会(5月6日から5月10日、1人)

第6クール 熊本県大津町社会福祉協議会(5月18日から5月22日、1人)